

大学番号：国039

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

福井大学 工学部 機械・システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福井大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合戦略部門経営戦略課

職名・氏名 キカクタントウ シュウサ コイケ ミズエ
企画担当 主査・小池 瑞穂

電話番号 0776-27-8055

（夜間） 0776-27-8055

F A X 0776-27-8518

e-mail s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<機械・システム工学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	30
5. 教員組織の状況	32
6. 附帯事項等に対する履行状況等	72
7. その他全般的事項	73

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マユミ ミツフミ) 眞弓 光文 (平成25年4月)	(ウエダ タカノリ) 上田 孝典 (平成31年4月)	平成31年3月31日任期満了に伴い交代(元)
学部長	(オノダ ノブハル) 小野田 信春 (平成25年4月)	(フクイ カズトシ) 福井 一俊 (平成30年4月)	平成30年3月31日任期満了に伴い交代(30)
学科長等	(オオタ ジュンイチ) 太田 淳一 (平成29年4月)	(クワズル オサム) 桑水流 理 (平成31年4月) (オオツ マサアキ) 大津 雅亮 (平成30年4月)	平成31年3月31日任期満了に伴い交代(元) 平成30年3月31日任期満了に伴い交代(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)
 令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械・システム工学科 学士（工学）	工学関係	4年	155人	10人 3年次	640人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	155	-	155	-	155	-	155	-	155	-	1.01倍	-	倍
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[若干名]	[-]											
志願者数	-	-	597	-	515	-	747	-	545	-	545	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(26)	(-)	(33)	(-)	(33)	(-)			
	[-]	[-]	[4]	[-]	[7]	[-]	[8]	[-]	[9]	[-]	[9]	[-]			
受験者数	-	-	383	-	331	-	446	-	330	-	330	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(24)	(-)	(26)	(-)	(26)	(-)			
	[-]	[-]	[4]	[-]	[7]	[-]	[6]	[-]	[8]	[-]	[8]	[-]			
合格者数	-	-	172	-	173	-	184	-	178	-	178	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(14)	(-)	(14)	(-)	(14)	(-)			
	[-]	[-]	[1]	[-]	[4]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]			
B 入学者数	-	-	160	-	158	-	157	-	155	-	155	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(7)	(-)	(11)	(-)	(11)	(-)			
	[-]	[-]	[1]	[-]	[3]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		1.03		1.01		1.01		1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	160	-	158	-	157	-	155	-	平成30年度春季3年次編入学生7名 (内留学生2名) 令和元年度春季3年次編入学生11名 (内留学生3名)
	[-]	[-]	[1]	[-]	[3]	[-]	[2]	[-]	[2]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	-	-	(-)	-	
2年次			-	-	158	-	157	-	156	-	
			[-]	[-]	[1]	[-]	[3]	[-]	[2]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	164	-	165	-	
	[-]	[-]			[3]	[-]	[5]	[-]			
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
4年次					-	-	163	-			
	[-]	[-]			[2]	[-]					
			(-)	(-)	(-)	(-)					
計			-	160	316	478	639				
	[-]	[1]	[4]	[8]	[11]						
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	160 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)
平成29年度	316 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	家庭の事情
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学
平成30年度	478 人	5 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	1 人	[学力不足]
			平成29年度	3 人	1 人	他の教育機関への入学・転学、就職準備、[就学意欲の低下]
			平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への受験準備
令和元年度	639 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		9 人		9 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{160} = \boxed{1.25} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{316} = \boxed{0.63} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{478} = \boxed{1.04} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{639} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 機械・システム工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
入門科目	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1		
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	8	3	1	0	0
基礎教育科目	情報処理基礎	1前	2			1	8				兼1
	体育	1前		2							兼8
	保健体育	1前		2							兼2
	英語 I	1前	1								兼18
	英語 II	1前	1								兼18
	英語 III	1後	1								兼18
	英語 IV	1後	1								兼18
	英語 V	2前	1								兼18
	英語 VI	2前	1								兼18
	ドイツ語 I	2①		1							兼1
	ドイツ語 II	2②		1							兼1
	ドイツ語 III	2③		1							兼1
	ドイツ語 IV	2④		1							兼1
	フランス語 I	2①		1							兼1
	フランス語 II	2②		1							兼1
	フランス語 III	2③		1							兼1
	フランス語 IV	2④		1							兼1
	中国語 I	2①		1							兼1
	中国語 II	2②		1							兼1
	中国語 III	2③		1							兼1
中国語 IV	2④		1							兼1	
日本語 A	1前		1							兼1	
日本語 B	1後		1							兼1	
日本語 C	1前		1							兼1	
日本語 D	1後		1							兼1	
日本語 E	1前		1							兼1	
日本語 F	1後		1							兼1	
日本語 G	1前		1							兼1	
日本語 H	1後		1							兼1	
小計(29科目)	-	8	12	12	1	8	0	0	0	兼37	
共通教育科目	<社会>										
	<地域と歴史>										
	日本史(近世社会の展開)	1前		2							兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後		2							兼1
	地図に見る歴史と景観	1前		2							兼1
	発展途上国の人間地生態	1前		2							兼1
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前		2							兼1
	東洋史B(近代日本とアジア認識)	1後		2							兼1
	<現代社会の見方>										
	憲法概論	1前		2							兼1
	経済学B(現代社会とワークルール)	1前		2							兼1
	社会学B(変容する家族と社会)	1後		2							兼1
	政治学A(現代政治学入門)	1前		2							兼1
	政治学B(戦後日本の政治)	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前		2							兼1
	社会学A(メディア社会の諸相)	1前		2							兼1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
入門科目	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1		
	小計(1科目)	-	2	0	0	3	8	3	1	0	0
基礎教育科目	情報処理基礎	1前	2			1	5	4	1		
	スポーツ健康科学 I	1前		2							兼5
	スポーツ健康科学 II	1前		2							兼4
	英語 I	1前	1								兼18
	英語 II	1前	1								兼18
	英語 III	1後	1								兼18
	英語 IV	1後	1								兼18
	英語 V	2前	1								兼18
	英語 VI	2前	1								兼18
	ドイツ語 I	1①		1							兼1
	ドイツ語 II	1②		1							兼1
	ドイツ語 III	1③		1							兼1
	ドイツ語 IV	1④		1							兼1
	フランス語 I	1①		1							兼1
	フランス語 II	1②		1							兼1
	フランス語 III	1③		1							兼1
	フランス語 IV	1④		1							兼1
	中国語 I	1①		1							兼1
	中国語 II	1②		1							兼1
	中国語 III	1③		1							兼1
中国語 IV	1④		1							兼1	
日本語 A	1前		1							兼1	
日本語 B	1後		1							兼1	
日本語 C	1前		1							兼1	
日本語 D	1後		1							兼1	
日本語 E	1前		1							兼1	
日本語 F	1後		1							兼1	
日本語 G	1前		1							兼1	
日本語 H	1後		1							兼1	
小計(29科目)	-	8	12	12	1	5	4	1	0	兼35	
共通教育科目	<地域コア科目群>										
	<ものづくり・産業振興・技術創発分野>										
	現代社会とビジネス	1前		2							兼1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2							兼1
	科学技術と社会	1前		2		1					
	衣生活の現状	1前		2							兼1
	ロボットの知能と学習	1前		2		1					
	進化する織維の技術	1前		2		1	2	1			兼1
	現場で役立つ機器分析	1前		2			1				
	半導体の科学	1後		2							兼1
	織維の世界	1後		2		1	1	0	1		兼2
	新素材の世界	1後		2		1	2				
	地方創生担井モデルの事例研究-前江学-	1後		2							兼1
	ふくいを知る・見る・考える II	1後		2							兼1
	持続可能な社会・環境づくり分野										
	こども環境学入門	1後		2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	ジェンダー論	1後	2							兼1
	社会学C(コミュニティと住民組織)	1前	2							兼1
	経済学A(金融って何だろう)	1後	2							兼1
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前	2							兼1
	科学技術と社会	2前	2			1				
	<生活と生活空間の科学>									
	まちづくり論	1前	2			2	2			
	災害の科学	1後	2			2	2	2		
	衣生活の現状	1前	2							兼1
	災害ボランティア論	1後	2			1				
	こども環境学入門	1後	2							兼1
	都市と建築の環境	1後	2			2	1			
	現代社会と私たちの生活	1前	2							兼1
	現代社会とビジネス	1前	2							兼1
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2							兼5
	環境問題と社会	1前	2							兼1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後	2							兼1
	科学技術と倫理	1後	2			1				
	<人間>									
	<思想と人間>									
	哲学的人間学Ⅰ	1後	2							兼1
	哲学的人間学Ⅱ	1後	2							兼1
	ラテン語とキリスト教	1前	2							兼1
	日本思想	1前	2							兼1
	哲学とは何か	1後	2							兼1
	哲学入門	1前	2							兼1
	宗教と哲学	1前	2							兼1
	<人間の科学>									
	教えることと学ぶこと	1後	2							兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2							兼1
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2							兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後	2							兼2
	批判的思考を伸ばす	1前	2							兼1
	「社会がわかる」とは？	1前	2							兼1
	健康科学・医学概論	1後	2							兼15
	子どもと学校	1後	2							兼1
	心を探る(人間関係論)	1前	2							兼1
	こころの発達と健康	1前	2							兼1
	<スポーツと健康の科学>									
	ニューススポーツと健康生活	1前	2							兼1
アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2							兼1	
生まれること、産むこと	1前	2							兼1	
健康メディアリテラシー	1後	2							兼1	
ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実践	1後	2							兼1	
<英語コミュニケーション>										
スピーキングⅠ	1前	2							兼1	
リスニング	1前	2							兼1	
ライティングⅠ	1前	2							兼1	
ライティングⅡ	1後	2							兼1	
リーディング	1後	2							兼1	
<文化>										
<日・中言語文化>										
言語表現	1後	2							兼1	
中国の古典文学	1前	2							兼1	
中国のことば	1前	2							兼1	
※文化コミュニケーションA(漢文とコミュニケーション)	1後	2							兼1	
※文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーション)	1前	2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	環境問題と社会	1前	2							兼0
	まちづくり論	1前	2			1	2			
	都市と建築の環境	1後	2			1	1	2		
	科学技術と環境	1前	2			2	2	1		
	科学技術と倫理	1後	2			1				
	地域の局地気象	1前	2							兼1
	自然史と生物	1前	2							兼1
	日本海地域の自然と環境	1前	2							兼1
	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	1前	2			1				
	地球の環境	1後	2							兼1
	福井の経済と経営者	1前	2							兼1
	コミュニティと住民組織	1後	2							兼1
	地域科学コミュニケーション	1前	2							兼2
	これからの地方創生と経営学	1前	2							兼1
	ふくいを知る・見る・考える	1前	2							兼1
	原子力・エネルギー分野									
	電磁波と物質	1前	2							兼2
	エネルギー科学	1後	2			1				
	生活の中の熱とエネルギー	1後	2			1				
	熱と流れ	1後	2			2				
	エネルギーと環境	1後	2			1				
	災害の科学	1後	2			2	2	2	1	
	災害ボランティア論	1後	2			1				
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2							兼6
	放射線利用—医学と産業—	1前	2			1		1		兼4
	地域の防災・危機管理	1前	2					1		兼2
	<教養教育科目群>									
	人間理解・言語コミュニケーション分野									
	批判的思考を伸ばす	1前	2							兼0
	「社会がわかる」とは？	1前	2							兼1
	心を探る(人間関係論)	1前	2							兼1
	こころの発達と健康	1前	2							兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2							兼1
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2							兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後	2							兼3
	子どもと学校	1後	2							兼1
	教えることと学ぶこと	1後	2							兼1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1後	2							兼4
	学問の入り口	1前後	2							兼1
	生まれること、産むこと	1前	2							兼0
健康科学・医学概論	1後	2							兼15	
ニューススポーツと健康生活	1前	2							兼1	
アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2							兼1	
健康メディアリテラシー	1後	2							兼1	
ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実践	1後	2							兼0	
哲学的人間学Ⅰ	1前	2							兼1	
哲学的人間学Ⅱ	1前	2							兼1	
日本思想	1前	2							兼1	
宗教と哲学	1前	2							兼1	
哲学入門	1前	2							兼1	
哲学とは何か	1後	2							兼1	
スピーキングⅠ	1前	2							兼1	
リスニングⅡ	1前	2							兼1	
ライティングⅠ	1前	2							兼1	
ライティングⅡ	1後	2							兼1	
リーディング	1後	2							兼1	
ヨーロッパの言語事情	1前	2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1前	2							兼1
	教養中国語1	1前	2							兼1
	教養中国語2	1後	2							兼1
	教養中国語3	1前	2							兼1
	教養中国語4	1後	2							兼1
	言語生活論	1前	2							兼1
	中国の文化	1後	2							兼1
	日本語の歴史	1後	2							兼1
	白川文字学	1後	2							兼1
	<欧米の言語と文化>									
	ヨーロッパの言語事情	1前	2							兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前	2							兼1
	フランスの文化B(ジャポニズムとその時代)	1後	2							兼1
	教養ドイツ語1	1前	2							兼1
	教養ドイツ語2	1後	2							兼1
	教養ドイツ語3	1前	2							兼1
	教養ドイツ語4	1後	2							兼1
	教養フランス語1	1前	2							兼1
	教養フランス語2	1後	2							兼1
	教養フランス語3	1前	2							兼1
	教養フランス語4	1後	2							兼1
	アメリカの文化	1後	2							兼1
	フランス文学入門	1前	2							兼1
	ヨーロッパの映画	1後	2							兼1
	ドイツの文化	1前	2							兼1
	<美術>									
	造形美術の世界ー絵画	1前	2							兼1
	造形美術の世界ー表現世界の多様性	1前	2							兼1
	生活と美術ーみる、えがく、つくる	1前	2							兼1
	考古学入門	1後	2							兼1
	<音楽>									
	ポピュラー音楽の魅力さをさぐる	1後	2							兼1
	近現代の音楽芸術	1前	2							兼1
	ピアノの魅力さをさぐる	1後	2							兼1
	現代音楽入門	1後	2							兼1
	合唱の魅力を探る	1前	2							兼1
	<日本語・日本文化(留学生対象)>									
	日本の文化	1前	2							兼1
	日本事情A(日本語と文化)	1前	2							兼1
	日本事情B(社会と文化)	1後	2							兼1
応用日本語 I	1前	2							兼1	
応用日本語 II	1後	2							兼1	
<技術>										
<システムと情報>										
数値計算の考え方	1前	2			1					
計算機システムの基礎	1前	2				1				
エネルギーと環境	1後	2			1					
宮沢賢治と非線形科学	1後	2			1					
マルチメディア情報通信	1後	2			1					
ロボットの知能と学習	1前	2				1				
生体情報工学	1前	2				1				
<生活と技術>										
熱と流れ	1後	2			2					
音と振動	1前	2			1					
金属のはなし	1後	2			1					
進化する繊維の技術	1前	2			1	2				
<物質と技術>										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	多文化コミュニケーションB(異文化コミュニケーションB)	1後	2							兼1
	多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前	2							兼1
	多文化コミュニケーションD(異文化コミュニケーションD)	1前	2							兼1
	言語生活論	1前	2							兼1
	言語表現	1後	2							兼1
	応用日本語 I	1前	2							兼1
	応用日本語 II	1後	2							兼1
	中国語の世界1	1前	2							兼1
	中国語の世界2	1後	2							兼1
	中国語の世界3	1前	2							兼1
	中国語の世界4	1後	2							兼1
	ドイツ語の世界1	1前	2							兼1
	ドイツ語の世界2	1後	2							兼1
	ドイツ語の世界3	1前	2							兼1
	ドイツ語の世界4	1後	2							兼1
	フランス語の世界1	1前	2							兼1
	フランス語の世界2	1後	2							兼1
	フランス語の世界3	1前	2							兼1
	フランス語の世界4	1後	2							兼1
	こころの成長	1前	2							兼2
	教育の歴史から学ぶー童話のつとめと現代の教育ー	1後	2							兼1
	情報化社会の現在と未来	1後	2							兼2
	心理学的支援法	1後	2							兼1
	健康管理と食生活	1後	2							兼1
	歴史・文化理解分野									
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前	2							兼1
	東洋史B(近代日本とアジア諸国)	1後	2							兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後	2							兼1
	日本史(近世社会の展開)	1前	2							兼1
	発展途上国の人間地生態	1前	2							兼1
	地図に見る歴史と景観	1前	2							兼1
	「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)	1後	2							兼1
	ラテン語とキリスト教	1前	2							兼1
	アメリカの文化	1後	2							兼1
	フランス文学入門	1前	2							兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前	2							兼1
	フランスの文化B(ジャポニズムとその時代)	1後	2							兼1
	ヨーロッパの映画	1後	2							兼1
	ドイツの文化	1前	2							兼1
	中国の文化	1後	2							兼1
中国のことば	1前	2							兼1	
中国の古典文学	1前	2							兼1	
日本語の歴史	1後	2							兼1	
白川文字学	1後	2							兼1	
日本の文化	1前	2							兼1	
日本事情A(日本語と文化)	1前	2							兼1	
日本事情B(社会と文化)	1後	2							兼1	
近現代の音楽芸術	1前	2							兼1	
合唱の魅力を探る	1前	2							兼1	
ポピュラー音楽の魅力さをさぐる	1後	2							兼1	
ピアノの魅力さをさぐる	1後	2							兼1	
現代音楽入門	1後	2							兼1	
生活と美術ーみる、えがく、つくる	1後	2							兼1	
造形美術の世界ー表現世界の多様性	1前	2							兼1	
造形美術の世界ー絵画	1後	2							兼1	
考古学入門	1後	2							兼1	
数学史入門	1後	2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	新素材の世界	1後	2			1	2				
	バイオの世界	1前	2			2	2				
	生体機能と化学物質	1後	2			1	3				
	電子の世界	1前	2			1					
	物性の科学	1後	2				1				
	半導体の科学	1後	2								兼1
	繊維の世界	1後	2			2	1	1	1		
	科学技術と環境	1前	2			2	2				
	化学と材料	1後	2			2					兼1
	くらしから生命までの化学	1後	2			2	2				
	現場で役立つ機器分析	1前	2				1				
	<自然>										
	<自然のこぼ>										
	ランダム現象の記述	1後	2								兼1
	数学のこぼで理解する物理学	1後	2			1					
	ゲームとパズルの数学	1後	2								兼1
	数学の歴史	1後	2								兼1
	対称性と微分方程式	1前	2			1					
	簡単な実験で学ぶ生活の中の熱とエネルギー	1後	2			1					
	エネルギー科学	1後	2				1				
	ミクロの世界ー量子力学の萌芽ー	1後	2			1	1				
	電磁波と物質	1前	2								兼4
	物理と微積分	1前	2								兼1
	科学的な見方・考え方	1後	2								兼2
	地域科学コミュニケーション	1前	2								兼2
	地球の環境	1後	2								兼1
	ヒトの生物学	1後	2								兼1
	自然史と生物	1前	2								兼1
	日本海地域の自然と環境	1前	2								兼1
	地域の局地気象	1前	2								兼1
	火山のはなし	1後	2								兼1
	植物の生活史と進化	1後	2								兼1
	小計(114科目)	—	2	280	0	35	26	3	1	0	兼109
	専門教育科目	微分積分Ⅰ	1前	2				1			
線形代数Ⅰ		1前	2			1					兼1
物理学A(力学)		1前	2			1	1				
微分積分Ⅱ		1後	2			1					兼1
線形代数Ⅱ		1後	2			1					兼1
コンピュータ入門		1後	2			1	1				
コンピュータ演習		2前	1				2				
物理学実験		1後	2			1					兼1
応用数学A(微分方程式)		2前	2			1	1				
応用数学B(フーリエ解析)		2前	2				1				兼1
応用数学C(ベクトル解析)		2前	2								兼1
物理学B(電磁気学)		2前	2						1		兼1
物理学D(熱・波・光)		2前	2								兼1
応用数学D(複素関数論)	2後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	近現代文化昆虫学	1後	2								兼1
	モノから読み解く文化財学	1前	2						1		
	アートと地域コミュニティ	1前	2								兼1
	日本文学の楽しみ	1前	2								兼1
	社会経済・科学技術分野										
	経済学A(金融って何だろう)	1後	2								兼1
	経済学B(現代社会とワークルール)	1前	2								兼1
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前後	2								兼1
	マネジメント入門	1前	2								兼1
	憲法概論	1前	2								兼1
	日本国憲法	1前	2								兼1
	主権者意識をはぐくむ	1後	2								兼1
	社会学A(相互行為論入門)	1前	2								兼1
	社会学B(現代農村の社会学)	1後	2								兼1
	政治学A(現代政治学入門)	1前	2								兼1
	政治学B(戦後日本の政治)	1後	2								兼1
	ジェンダー論	1前	2								兼1
	音と振動	1前	2				1				
	バイオの世界	1前	2				3	2			
	電子の世界	1前	2				1				
	生体機能と化学物質	1後	2			1	4				
	数値計算の考え方	1前	2			1					
	計算機システムの基礎	1前	2			1	1				
	コンピュータと情報処理	1前	2								兼2
	生体情報工学	1前	2					1			
	宮沢賢治と非線形科学	1後	2				1				
	ゲームとパズルの数学	1後	2								兼1
	数学の歴史	1後	2								兼1
	数学のこぼで理解する物理学	1後	2				1				
	対称性と微分方程式	1前	2				1				
	ランダム現象の記述	1後	2								兼1
	物理と微積分	1前	2								兼1
	科学的な見方・考え方	1後	2								兼2
	植物の生活史と進化	1後	2								兼1
ヒトの生物学	1後	2								兼1	
火山のはなし	1後	2								兼1	
宇宙の成り立ち	1後	2						0			
キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)	1後	2								兼1	
対話と直観と共感で学ぶ物理	1後	2								兼1	
数学的活動	1後	2								兼1	
数と方程式	1前	2								兼1	
産業社会の中のセンサ技術	1後	2								兼1	
小計(164科目)	—	2	326	0	35	25	3	1	0	兼123	
専門教育科目	微分積分Ⅰ	1前	2				1	1			
	線形代数Ⅰ	1前	2				2				
	物理学A(力学)	1前	2				1	1			
	微分積分Ⅱ	1後	2				1	1			
	線形代数Ⅱ	1後	2				1	1			
	コンピュータ入門	1後	2				1	1			
	コンピュータ演習	2前	1					2			
	物理学実験	1後	2				1		1		
応用数学A(微分方程式)	2前	2				1	1				
応用数学B(フーリエ解析)	2前	2				1				兼1	
応用数学C(ベクトル解析)	2前	2				1					
物理学B(電磁気学)	2前	2					1	1			
物理学D(熱・波・光)	2前	2					1				
応用数学D(複素関数論)	2後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必	選	自	教	准	講	助	助			
												修	択
専門基礎科目	応用数学E(確率・統計)	2後	2										兼2
	応用電磁気学	2後	2			1							
	工業日本語 I	1前	2										兼1
	工業日本語 II	1後	2										兼1
	工業日本語 III	2前	2										兼1
	工業日本語 IV	2後	2										兼1
	留学基礎英語	1~4前	2										兼1
	学際実験・実習 I	2前	1										兼3
	学際実験・実習 II	3前	1										兼3
	放射線安全工学	2後	2			1							兼4
	知的財産権の基礎知識	3後	2										兼1
	ベンチャービジネス概論	4前	2										兼1
	フロントランナー	3後	2										兼1
	ものづくり基礎工学	1後	2										兼1
	インターンシップ	3前	1										兼1
	海外短期インターンシップ I	1~4前	1										兼1
海外短期インターンシップ II	1~4前	1										兼1	
小計(31科目)	—	18	38	0	8	8	0	1	0			兼25	
専門教育科目	機械・システム工学科概論 I	1前	2			2	1						
	物理化学	1前	2					1					兼1
	機械・システム材料基礎	1前	2										兼1
	情報処理演習	1前	1				1						
	人とロボット	1前	2			1							
	エネルギー環境概論	1前	2										兼1
	解析力学	1後	2				1			1			
	電気工学概論	1後	2			1							
	先端材料入門	1後	2				1						
	生物システム入門	1後	2				1						
	機械・システム工学科概論 II	1後	2			2	1						
	計算機システム	1後	2										兼1
	計測工学基礎	1後	2			1							
	製図・CAD基礎	2前	1				1						兼1
	ロボットと医療・福祉	2前	2				1						
	量子力学	2後	2			1							
制御工学 I	2後	2			1	1							
創造演習 I	3前	1			7	11			1			兼8	
制御工学 II	3前	2			1	1							
数値解析入門	3前	2				2							
創造演習 II	3後	1			7	11			1			兼8	
科学技術英語	4前	2			13	15	2	2					
小計(22科目)	—	12	28	0	13	15	2	2	0			兼8	
コース共通科目	製図基礎	1後	2			1							
	材料力学 I	2前	2			1							
	機構学	1後	2				1						
	機械工作実習	1後	1			1							
	材料力学 II	2後	2			1							
	機械材料	1後	2			1							
	熱力学 I	2前	2					1					
	流れ学 I	2前	2				1						
	機械推論基礎	2前	2				1						
	熱力学 II	2後	2			1							
	流れ学 II	2後	2			1							
	機械力学 I	2後	2			1							
	メカトロニクス	2後	2			1							
	材料力学 III	3前	2			1							
	流体力学	3前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必	選	自	教	准	講	助	助				
												修	択	由
専門基礎科目	応用数学E(確率・統計)	2後	2							1				
	応用電磁気学	2後	2							1				
	工業日本語 I	1前	2											兼1
	工業日本語 II	1後	2											兼1
	工業日本語 III	2前	2											兼1
	工業日本語 IV	2後	2											兼1
	留学基礎英語	1~4前	2							1				
	学際実験・実習 I	2前	1							3				
	学際実験・実習 II	3前	1							3				
	放射線安全工学	2後	2							2	1			兼1
	知的財産権の基礎知識	3後	2											兼1
	ベンチャービジネス概論	4前	2											兼1
	フロントランナー	3後	2							1				兼1
	ものづくり基礎工学	1後	2								1			
	インターンシップ	3前	1							1				
	海外短期インターンシップ I	1~4前	1							1				
海外短期インターンシップ II	1~4前	1							2	1				
職業指導	4前								2					兼1
小計(32科目)	—	18	39	2	13	11	3	0	0				兼10	
専門教育科目	機械・システム工学科概論 I	1前	2							16	15	6	2	兼8
	物理化学	1前	2							1				兼1
	機械・システム材料基礎	1前	2											兼1
	情報処理演習	1前	1											兼1
	人とロボット	1前	2						1					
	エネルギー環境概論	1前	2											兼1
	解析力学	1後	2						1	1				
	電気工学概論	1後	2						1					
	先端材料入門	1後	2							1				
	生物システム入門	1後	2							1				
	機械・システム工学科概論 II	1後	2							16	15	6	2	兼8
	計算機システム	1後	2							1				
	計測工学基礎	1後	2							1				
	製図・CAD基礎	2前	1							2	0			
	ロボットと医療・福祉	2前	2								1			
	量子力学	2後	2											兼1
制御工学 I	2後	2							1	1				
創造演習 I	3前	1								4				
制御工学 II	3前	2							1	1				
数値解析入門	3前	2							1	1				
創造演習 II	3後	1								4				
科学技術英語	4前	2							16	15	6	2	兼8	
小計(22科目)	—	12	28	0	16	15	6	2	0				兼8	
コース共通科目	製図基礎	1後	2							1				
	材料力学 I	2前	2							1				
	機構学	1後	2								1			
	機械工作実習	1後	1							1				
	材料力学 II	2後	2							1				
	機械材料	1後	2											兼1
	熱力学 I	2前	2								1			
	流れ学 I	2前	2								1			
	機械推論基礎	2前	2								1			
	熱力学 II	2後	2							1				
	流れ学 II	2後	2							1				
	機械力学 I	2後	2							1				
	メカトロニクス	2後	2							1				
	材料力学 III	3前	2								1			
	流体力学	3前	2								1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	伝熱工学	3前	2			1							
	機械力学Ⅱ	3前	2			1							
	ロボットメカニズム	3前	2				1						
	ロボット材料学	3前	2				1						
	材料強度学	3後	2			1							
	ロボット制御論	3後	2				1						
	ロボットと非線形動力学	3後	2			1							
	小計(22科目)	—	8	35	0	9	6	1	0	0	0		
	機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2			1						
		加工学Ⅱ	2後	2			1						
機械要素設計Ⅰ		2後	2				1						
機械工学実験		3前	1			2	2		1				
機械要素設計Ⅱ		3前	2				1						
トライボロジー		3後	2				1						
エネルギー変換		3後	2					1					
流体機械		3後	2			1							
生産システム工学		3後	2			1							
小計(9科目)	—	5	12	0	5	4	1	1	0	0			
ロボティクスコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1			1	1		1				
	応用電気電子回路	2前		2		1							
	デジタル回路	2前		2			1						
	ロボットプログラムⅠ	2前		2			1						
	生物とロボット	2前		2			1						
	ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後	1				3						
	ロボットプログラムⅡ	2後		2								兼1	
	グラフィクスと認知	2後		2			1						
	人工知能論	2後		2								兼1	
	ものづくりを支える科学	2後		2			1						
	信号処理	3前		2		1							
	ロボットビジョン	3前		2			1						
	インテリジェントシステム処理論	3前		2			1						
	自律システム	3後		2			1						
	生物ロボットの認知・情報処理	3後		2			1						
	人とヒューマノイド	3後		2			1						
	人間情報システム	3後		2			1						
	ブレインマシンインターフェース	3後		2					1				
小計(18科目)	—	0	2	32	2	9	0	1	0	0	兼2		
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前		2								兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2									兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2									兼3	
	原子カプラント工学	2後	2									兼1	
	放射線の医療応用	2後		2			1						
	放射線化学・生物学	2後		2						1		兼1	
	原子炉工学	3前	2									兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1				1					兼2	
	原子力材料学	3前		2								兼1	
	核燃料工学	3前		2								兼1	
	リスク評価概論	3前		2								兼1	
	原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1								1	兼3	
	原子力・耐震耐津波工学	3後		2								兼1	
	原子炉制御工学	3後		2								兼2	
	廃止措置工学	3後		2								兼1	
	放射線防護工学	3後		2								兼2	
	原子力防災論	3後		2								兼2	
小計(17科目)	—	10	22	0	0	2	0	0	0	0	兼8		
卒業研究	4通	8			13	15	2	2	0			兼6	
小計(17科目)	—	8	0	0	13	15	2	2	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	伝熱工学	3前	2			1							
	機械力学Ⅱ	3前	2			1							
	ロボットメカニズム	3前	2				1						
	ロボット材料学	3前	2				1						
	材料強度学	3後	2				1						
	ロボット制御論	3後	2				1						
	ロボットと非線形動力学	3後	2			1							
	小計(22科目)	—	8	35	0	8	8	0	0	0	0	兼1	
	機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2			1						
		加工学Ⅱ	2後	2			1						
機械要素設計Ⅰ		2後	2				1						
機械工学実験		3前	1			1	2		1				
機械要素設計Ⅱ		3前	2				1						
トライボロジー		3後	2				1						
エネルギー変換		3後	2					1					
流体機械		3後	2			1							
生産システム工学		3後	2			1							
小計(9科目)	—	5	12	0	4	3	1	0	0	0	0		
ロボティクスコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1			1	1		1				
	応用電気電子回路	2前		2		1							
	デジタル回路	2前		2			1						
	ロボットプログラムⅠ	2前		2			1						
	生物とロボット	2前		2			1						
	ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後	1				3						
	ロボットプログラムⅡ	2後		2								兼1	
	グラフィクスと認知	2後		2			1						
	人工知能論	2後		2								兼1	
	ものづくりを支える科学	2後		2			1						
	信号処理	3前		2		1							
	ロボットビジョン	3前		2			1						
	インテリジェントシステム処理論	3前		2			1						
	自律システム	3後		2								兼1	
	生物ロボットの認知・情報処理	3後		2			1						
	人とヒューマノイド	3後		2			1						
	人間情報システム	3後		2			1						
	ブレインマシンインターフェース	3後		2							1		
小計(18科目)	—	0	32	0	7	6	1	0	0	0	0		
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前		2								兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2									兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2									兼3	
	原子カプラント工学	2後	2									兼2	
	放射線の医療応用	2後		2			1						
	放射線化学・生物学	2後		2						1		兼1	
	原子炉工学	3前	2									兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1				1					兼4	
	原子力材料学	3前		2								兼1	
	核燃料工学	3前		2								兼1	
	リスク評価概論	3前		2								兼1	
	原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1								1	兼6	
	原子力・耐震耐津波工学	3後		2								兼1	
	原子炉制御工学	3後		2								兼2	
	廃止措置工学	3後		2								兼1	
	放射線防護工学	3後		2								兼2	
	原子力防災論	3後		2								兼2	
小計(17科目)	—	10	22	0	2	1	2	1	0	0	兼6		
卒業研究	4通	8			16	15	6	2			兼6		
小計(1科目)	—	8	0	0	16	15	6	2	0	0	兼6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	幾何学概論	4前			2							兼1
	職業指導	4前			2							兼1
	教職の意義Ⅰ	1後			2							兼2
	教職の意義Ⅱ	2前			2							兼2
	成長・発達と学習の過程	2前			2							兼2
	教育の組織・制度・経営	2前			2							兼2
	カリキュラムと教育方法	3前			2							兼2
	中等理科教育法Ⅱ	3前			2							兼1
	学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)	3前			2							兼2
	学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)	3後			2							兼2
	教育実習(事前事後指導を含む)	4通			3							兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼6
	小計(12科目)	—	0	0	25	0	0	0	0	0		兼12
	合計(303科目)	—	75	459	37	13	15	2	2	0		兼164

卒業要件及び履修方法

【機械工学コース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む20単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む17単位以上
 コース共通科目:必修8単位を含む19単位以上
 コース専門科目:必修5単位を含む7単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

【ロボティクスコース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上
 コース共通科目:2単位以上
 コース専門科目:必修2単位を含む10単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

【原子力安全工学コース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上
 コース共通科目:必修8単位を含む10単位以上
 コース専門科目:必修10単位を含む14単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	工業概論	3前			2	5	2	2				兼1
	工業科教育法Ⅰ	2後			2							兼1
	工業科教育法Ⅱ	3前			2							兼1
	教育の理念・歴史・思想	2後			2							兼2
	教職の意義Ⅰ(公教育と教職の意義)	1後			1							兼3
	教職の意義Ⅱ(学びの専門性としての教職)	2前			1							兼3
	成長・発達と学習の過程	2前			2							兼2
	教育の組織・制度・経営の基礎	2前			2							兼2
	特別教育支援総論	2後			2							兼1
	カリキュラムと教育方法	3前			2							兼1
	理科教育法Ⅲ	3後			2	1						兼0
	総合的な学習の時間と特別活動	3前			2							兼2
	学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)	3前			2							兼3
	学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)	3後			2							兼3
	教育実習(事前事後指導を含む)	4通			3							兼4
	教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
小計(16科目)	—	0	0	31	6	2	2	0	0		兼15	
合計(331科目)	—	73	506	45	16	15	6	2	0		兼180	

卒業要件及び履修方法

【機械工学コース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む20単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む17単位以上
 コース共通科目:必修8単位を含む19単位以上
 コース専門科目:必修5単位を含む7単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

【ロボティクスコース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上
 コース共通科目:2単位以上
 コース専門科目:必修2単位を含む10単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

【原子力安全工学コース】

共通教育科目:必修12単位を含む32単位
 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上
 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上
 コース共通科目:必修8単位を含む10単位以上
 コース専門科目:必修10単位を含む14単位以上
 卒業研究:必修8単位
 合計124単位以上を修得する。

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
入門科目	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1	
	情報処理基礎	1前	2			1	8			
基礎教育科目	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		2						兼7
	スポーツ健康科学Ⅱ	1前		2						兼4
	英語Ⅰ	1前	1							兼18
	英語Ⅱ	1前	1							兼18
	英語Ⅲ	1後	1							兼18
	英語Ⅳ	1後	1							兼18
	英語Ⅴ	1前	1							兼18
	英語Ⅵ	1前	1							兼18
	ドイツ語Ⅰ	1①		1						兼1
	ドイツ語Ⅱ	1②		1						兼1
	ドイツ語Ⅲ	1③		1						兼1
	ドイツ語Ⅳ	1④		1						兼1
	フランス語Ⅰ	1①		1						兼1
	フランス語Ⅱ	1②		1						兼1
	フランス語Ⅲ	1③		1						兼1
	フランス語Ⅳ	1④		1						兼1
	中国語Ⅰ	1①		1						兼1
	中国語Ⅱ	1②		1						兼1
	中国語Ⅲ	1③		1						兼1
	中国語Ⅳ	1④		1						兼1
日本語A	1前		1						兼1	
日本語B	1後		1						兼1	
日本語C	1前		1						兼1	
日本語D	1後		1						兼1	
日本語E	1前		1						兼1	
日本語F	1後		1						兼1	
日本語G	1前		1						兼1	
日本語H	1後		1						兼1	
共通教育科目	<地域コア科目群>									
	ものづくり・産業振興・技術創発分野									
	現代社会とビジネス	1前		2						兼1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2						兼1
	科学技術と社会	1前		2		1				
	衣生活の現状	1前		2						兼1
	ロボットの知能と学習	1前		2			1			
	進化する繊維の技術	1前		2		1	2			
	現場で役立つ機器分析	1前		2			1			
	半導体の科学	1後		2						兼1
	繊維の世界	1後		2		2	1	1	1	
	新素材の世界	1後		2		1	2			
	地方産品振興モデルの事例研究―鹿児島県―	1後		2						兼1
	ものづくり・産業振興・技術創発分野									
	持続可能な社会・環境づくり分野									
	こども環境学入門	1後		2						兼1
	環境問題と社会	1前		2						兼0
	まちづくり論	1前		2		2	2			
	都市と建築の環境	1後		2		2				
	科学技術と環境	1前		2		1	2			
科学技術と倫理	1後	2			1					
地域の局地気象	1前		2						兼1	
自然史と生物	1前		2						兼1	
日本海地域の自然と環境	1前		2						兼1	
地球の環境	1後		2						兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
入門科目	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1	
	情報処理基礎	1前	2			1	8			
基礎教育科目	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		2						兼7
	スポーツ健康科学Ⅱ	1前		2						兼4
	英語Ⅰ	1前	1							兼18
	英語Ⅱ	1前	1							兼18
	英語Ⅲ	1後	1							兼18
	英語Ⅳ	1後	1							兼18
	英語Ⅴ	1前	1							兼18
	英語Ⅵ	1前	1							兼18
	ドイツ語Ⅰ	1①		1						兼1
	ドイツ語Ⅱ	1②		1						兼1
	ドイツ語Ⅲ	1③		1						兼1
	ドイツ語Ⅳ	1④		1						兼1
	フランス語Ⅰ	1①		1						兼1
	フランス語Ⅱ	1②		1						兼1
	フランス語Ⅲ	1③		1						兼1
	フランス語Ⅳ	1④		1						兼1
	中国語Ⅰ	1①		1						兼1
	中国語Ⅱ	1②		1						兼1
	中国語Ⅲ	1③		1						兼1
	中国語Ⅳ	1④		1						兼1
日本語A	1前		1						兼1	
日本語B	1後		1						兼1	
日本語C	1前		1						兼1	
日本語D	1後		1						兼1	
日本語E	1前		1						兼1	
日本語F	1後		1						兼1	
日本語G	1前		1						兼1	
日本語H	1後		1						兼1	
共通教育科目	<地域コア科目群>									
	ものづくり・産業振興・技術創発分野									
	現代社会とビジネス	1前		2						兼1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2						兼1
	科学技術と社会	1前		2		1				
	衣生活の現状	1前		2						兼1
	ロボットの知能と学習	1前		2			1			
	進化する繊維の技術	1前		2		1	2			
	現場で役立つ機器分析	1前		2			1			
	半導体の科学	1後		2						兼1
	繊維の世界	1後		2		2	1	1	1	
	新素材の世界	1後		2		1	2			
	地方産品振興モデルの事例研究―鹿児島県―	1後		2						兼1
	ものづくり・産業振興・技術創発分野									
	持続可能な社会・環境づくり分野									
	こども環境学入門	1後		2						兼1
	環境問題と社会	1前		2						兼0
	まちづくり論	1前		2		2	2			
	都市と建築の環境	1後		2		2				
	科学技術と環境	1前		2		2	1	1		
科学技術と倫理	1後	2			1					
地域の局地気象	1前		2						兼1	
自然史と生物	1前		2						兼1	
日本海地域の自然と環境	1前		2						兼1	
地球の環境	1後		2						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	福井の経済と経営者	1前		2						兼1
	コミュニティと住民組織	1前		2						兼1
	地域科学コミュニケーション	1前		2						兼2
	これからの地方創生と経営学	1前		2						兼1
	ふくいを知る・見る・考える	1前		2						兼1
	原子力・エネルギー分野									
	電磁波と物質	1前		2						兼4
	エネルギー科学	1後		2		1				
	生活の中の熱とエネルギー	1後		2		1				
	熱と流れ	1後		2		2				
	エネルギーと環境	1後		2		1				
	災害の科学	1後		2		2	1	2		
	災害ボランティア論	1後		2		1				
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後		2						兼5
	放射線利用－医学と産業－	1前		2		1				兼5
	地域の防災・危機管理	1前		2						兼3
	<教養教育科目群>									
	人間関係・言語コミュニケーション分野									
	批判的思考を伸ばす	1前		2						兼1
	「社会がわかる」とは？	1前		2						兼1
	心を探る(人間関係論)	1前		2						兼1
	こころの発達と健康	1前		2						兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後		2						兼1
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後		2						兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後		2						兼2
	子どもと学校	1後		2						兼1
	教えることと学ぶこと	1後		2						兼1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1前		2						兼2
	学問の入り口	1後		2						兼1
	生まれること、産むこと	1前		2						兼1
	健康科学・医科学概論	1後		2						兼15
	ニューススポーツと健康生活	1前		2						兼1
	アウトドアスポーツとリアフリー	1前		2						兼1
	健康メディアリテラシー	1後		2						兼1
	ネット選挙(リレーボール)選挙の理論と実際	1後		2						兼1
	哲学的人間学Ⅰ	1後		2						兼1
	哲学的人間学Ⅱ	1後		2						兼1
	日本思想	1前		2						兼1
	宗教と哲学	1前		2						兼1
	哲学入門	1前		2						兼1
	哲学とは何か	1後		2						兼1
	スピーキングⅠ	1前		2						兼1
	リスニングⅡ	1前		2						兼1
	ライティングⅠ	1前		2						兼1
	ライティングⅡ	1後		2						兼1
	リーディング	1後		2						兼1
	ヨーロッパの言語事情	1前		2						兼1
	多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーション)	1後		2						兼1
	多文化コミュニケーション(日本語コミュニケーション)	1前		2						兼1
	多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーション)	1前		2						兼1
	言語生活論	1前		2						兼1
	言語表現	1後		2						兼1
	応用日本語Ⅰ	1前		2						兼1
	応用日本語Ⅱ	1後		2						兼1
	中国語の世界1	1前		2						兼1
	中国語の世界2	1後		2						兼1
	中国語の世界3	1前		2						兼1
	中国語の世界4	1後		2						兼1
	ドイツ語の世界1	1前		2						兼1
	ドイツ語の世界2	1後		2						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	福井の経済と経営者	1前		2						兼1
	コミュニティと住民組織	1前		2						兼1
	地域科学コミュニケーション	1前		2						兼2
	これからの地方創生と経営学	1前		2						兼1
	ふくいを知る・見る・考える	1前		2						兼1
	原子力・エネルギー分野									
	電磁波と物質	1前		2						兼4
	エネルギー科学	1後		2		1				
	生活の中の熱とエネルギー	1後		2		1				
	熱と流れ	1後		2		2				
	エネルギーと環境	1後		2		1				
	災害の科学	1後		2		2	1	2		
	災害ボランティア論	1後		2		1				
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後		2						兼5
	放射線利用－医学と産業－	1前		2		1				兼5
	地域の防災・危機管理	1前		2						兼3
	<教養教育科目群>									
	人間関係・言語コミュニケーション分野									
	批判的思考を伸ばす	1前		2						兼1
	「社会がわかる」とは？	1前		2						兼1
	心を探る(人間関係論)	1前		2						兼1
	こころの発達と健康	1前		2						兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後		2						兼1
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後		2						兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後		2						兼2
	子どもと学校	1後		2						兼1
	教えることと学ぶこと	1後		2						兼1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1前		2						兼2
	学問の入り口	1後		2						兼1
	生まれること、産むこと	1前		2						兼1
	健康科学・医科学概論	1後		2						兼15
	ニューススポーツと健康生活	1前		2						兼1
	アウトドアスポーツとリアフリー	1前		2						兼1
	健康メディアリテラシー	1後		2						兼1
	ネット選挙(リレーボール)選挙の理論と実際	1後		2						兼1
	哲学的人間学Ⅰ	1後		2						兼1
	哲学的人間学Ⅱ	1後		2						兼1
	日本思想	1前		2						兼1
	宗教と哲学	1前		2						兼1
	哲学入門	1前		2						兼1
	哲学とは何か	1後		2						兼1
	スピーキングⅠ	1前		2						兼1
	リスニングⅡ	1前		2						兼1
	ライティングⅠ	1前		2						兼1
	ライティングⅡ	1後		2						兼1
	リーディング	1後		2						兼1
	ヨーロッパの言語事情	1前		2						兼1
	多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーション)	1後		2						兼1
	多文化コミュニケーション(日本語コミュニケーション)	1前		2						兼1
	多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーション)	1前		2						兼1
	言語生活論	1前		2						兼1
	言語表現	1後		2						兼1
	応用日本語Ⅰ	1前		2						兼1
	応用日本語Ⅱ	1後		2						兼1
	中国語の世界1	1前		2						兼1
	中国語の世界2	1後		2						兼1
	中国語の世界3	1前		2						兼1
	中国語の世界4	1後		2						兼1
	ドイツ語の世界1	1前		2						兼1
	ドイツ語の世界2	1後		2						兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	ドイツ語の世界3	1前		2							兼1	
	ドイツ語の世界4	1後		2							兼1	
	フランス語の世界1	1前		2							兼1	
	フランス語の世界2	1後		2							兼1	
	フランス語の世界3	1前		2							兼1	
	フランス語の世界4	1後		2							兼1	
	歴史・文化理解分野											
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前		2								兼1
	東洋史B(近代日本とアジア諸国)	1後		2								兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後		2								兼1
	日本史(近世社会の展開)	1前		2								兼1
	発展途上国の人間地生観	1前		2								兼1
	地図に見る歴史と景観	1前		2								兼1
	ラテン語とキリスト教	1前		2								兼1
	アメリカの文化	1後		2								兼1
	フランス文学入門	1前		2								兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前		2								兼1
	フランスの文化B(ルネサンスとその時代)	1後		2								兼1
	ヨーロッパの映画	1後		2								兼1
	ドイツの文化	1前		2								兼1
	中国の文化	1後		2								兼1
	中国のことば	1前		2								兼1
	中国の古典文学	1前		2								兼1
	日本語の歴史	1後		2								兼1
	白川文字学	1後		2								兼1
	日本の文化	1前		2								兼1
	日本事情A(日本語と文化)	1前		2								兼1
	日本事情B(社会と文化)	1後		2								兼1
	近現代の音楽芸術	1前		2								兼1
	合唱の魅力を探る	1前		2								兼1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後		2								兼1
	ピアノの魅力をさぐる	1後		2								兼1
	現代音楽入門	1後		2								兼1
	生活と美術—みる、えがく、つくる	1前		2								兼1
	造形美術の世界—表現世界の多様性	1前		2								兼1
	造形美術の世界—絵画	1前		2								兼1
	考古学入門	1後		2								兼1
	社会経済・科学技術分野											
	経済学A(金融って何だろう)	1後		2								兼1
	経済学B(現代社会とワークルール)	1前		2								兼1
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前		2								兼1
	憲法概論	1前		2								兼1
	日本国憲法	1前		2								兼1
	社会学A(相互行為論入門)	1前		2								兼1
	社会学B(現代農村の社会学)	1後		2								兼1
政治学A(現代政治学入門)	1前		2								兼1	
政治学B(戦後日本の政治)	1後		2								兼1	
ジェンダー論	1後		2								兼1	
音と振動	1前		2		1						兼1	
バイオの世界	1前		2		2	2					兼1	
電子の世界	1前		2		1						兼1	
生体機能と化学物質	1後		2		1	3					兼1	
数値計算の考え方	1前		2		1						兼1	
計算機システムの基礎	1前		2			1					兼1	
生体情報工学	1前		2			1					兼1	
宮沢賢治と非線形科学	1後		2		1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	ドイツ語の世界3	1前		2							兼1	
	ドイツ語の世界4	1後		2							兼1	
	フランス語の世界1	1前		2							兼1	
	フランス語の世界2	1後		2							兼1	
	フランス語の世界3	1前		2							兼1	
	フランス語の世界4	1後		2							兼1	
	歴史・文化理解分野											
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前		2								兼1
	東洋史B(近代日本とアジア諸国)	1後		2								兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後		2								兼1
	日本史(近世社会の展開)	1前		2								兼1
	発展途上国の人間地生観	1前		2								兼1
	地図に見る歴史と景観	1前		2								兼1
	ラテン語とキリスト教	1前		2								兼1
	アメリカの文化	1後		2								兼1
	フランス文学入門	1前		2								兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前		2								兼1
	フランスの文化B(ルネサンスとその時代)	1後		2								兼1
	ヨーロッパの映画	1後		2								兼1
	ドイツの文化	1前		2								兼1
	中国の文化	1後		2								兼1
	中国のことば	1前		2								兼1
	中国の古典文学	1前		2								兼1
	日本語の歴史	1後		2								兼1
	白川文字学	1後		2								兼1
	日本の文化	1前		2								兼1
	日本事情A(日本語と文化)	1前		2								兼1
	日本事情B(社会と文化)	1後		2								兼1
	近現代の音楽芸術	1前		2								兼1
	合唱の魅力を探る	1前		2								兼1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後		2								兼1
	ピアノの魅力をさぐる	1後		2								兼1
	現代音楽入門	1後		2								兼1
	生活と美術—みる、えがく、つくる	1前		2								兼1
	造形美術の世界—表現世界の多様性	1前		2								兼1
	造形美術の世界—絵画	1前		2								兼1
	考古学入門	1後		2								兼1
	社会経済・科学技術分野											
	経済学A(金融って何だろう)	1後		2								兼1
	経済学B(現代社会とワークルール)	1前		2								兼1
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前		2								兼1
	マネジメント入門	1前		2								兼1
	憲法概論	1前		2								兼1
	日本国憲法	1前		2								兼1
	主権者意識をはぐくむ	1後		2								兼1
社会学A(相互行為論入門)	1前		2								兼1	
社会学B(現代農村の社会学)	1後		2								兼1	
政治学A(現代政治学入門)	1前		2								兼1	
政治学B(戦後日本の政治)	1後		2								兼1	
ジェンダー論	1後		2								兼1	
音と振動	1前		2		2	1					兼1	
バイオの世界	1前		2		2	2	2				兼1	
電子の世界	1前		2		2	1					兼1	
生体機能と化学物質	1後		2		2	1	3				兼1	
数値計算の考え方	1前		2		2	1					兼1	
計算機システムの基礎	1前		2		2		1				兼1	
コンピュータと情報処理	1前		2		2						兼1	
生体情報工学	1前		2		2		1				兼1	
宮沢賢治と非線形科学	1後		2		2		1				兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	ゲームとパズルの数学	1後	2							兼1
	数学の歴史	1後	2							兼1
	数学のことで理解する物理学	1後	2		1					
	対称性と微分方程式	1前	2		1					
	ランダム現象の記述	1後	2							兼1
	物理と微積分	1前	2							兼1
	科学的な見方・考え方	1後	2							兼2
	植物の生活史と進化	1後	2							兼1
	ヒトの生物学	1後	2							兼1
	火山のはなし	1後	2							兼1
	宇宙の成り立ち	1後	2			1				
専門基礎科目	微分積分 I	1前	2			1				兼1
	線形代数 I	1前	2		1					兼1
	物理学A(力学)	1前	2		1	1				
	微分積分 II	1後	2		1					兼1
	線形代数 II	1後	2		1					兼1
	コンピュータ入門	1後	2		1	1				
	コンピュータ演習	2前	1			2				
	物理学実験	1後	2		1					兼1
	応用数学A(微分方程式)	2前	2		1	1				
	応用数学B(フーリエ解析)	2前	2			1				兼1
	応用数学C(ベクトル解析)	2前	2							兼1
	物理学B(電磁気学)	2前	2					1		兼1
	物理学D(熱・波・光)	2前	2						1	兼1
	応用数学D(複素関数論)	2後	2							兼1
	応用数学E(確率・統計)	2後	2					1		兼2
	応用電磁気学	2後	2		1					
	工業日本語 I	1前	2							兼1
	工業日本語 II	1後	2							兼1
	工業日本語 III	2前	2							兼1
	工業日本語 IV	2後	2							兼1
	留学基礎英語	1~4前	2							兼1
	学際実験・実習 I	2前	1							兼3
	学際実験・実習 II	3前	1							兼3
放射線安全工学	2後	2		1					兼4	
知的財産権の基礎知識	3後	2							兼1	
ベンチャービジネス概論	4前	2							兼1	
フロントランナー	3後	2						1	兼1	
ものづくり基礎工学	1後	2							兼1	
インターンシップ	3前	1						1	兼1	
海外短期インターンシップ I	1~4前	1						1	兼1	
海外短期インターンシップ II	1~4前	2						1	兼1	
職業指導	4前		2						兼1	
専門教育科目	機械・システム工学科概論 I	1前	2		2	1				兼1
	物理化学	1前	2				1			兼1
	機械・システム材料基礎	1前	2							兼1
	情報処理演習	1前	1			1				兼1
	人とロボット	1前	2		1					
	エネルギー環境概論	1前	2							兼1
	解析力学	1後	2			1			1	
	電気工学概論	1後	2		1					
	先端材料入門	1後	2		1					
	生物システム入門	1後	2		1					
	機械・システム工学科概論 II	1後	2		2	1				兼1
	計算機システム	1後	2							兼1
	計測工学基礎	1後	2		1					
	製図・CAD基礎	2前	1			1				兼1
	ロボットと医療・福祉	2前	2			1				
	量子力学	2後	2		1					
	制御工学 I	2後	2		1	1				
	創造演習 I	3前	1		7	11		1		兼8
	制御工学 II	3前	2		1	1				
	数値解析入門	3前	2			2				
	創造演習 II	3後	1		7	11		1		兼8
	科学技術英語	4前	2			13	15	2	2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目	ゲームとパズルの数学	1後	2							兼1
	数学の歴史	1後	2							兼1
	数学のことで理解する物理学	1後	2		1					
	対称性と微分方程式	1前	2		1					
	ランダム現象の記述	1後	2							兼1
	物理と微積分	1前	2							兼1
	科学的な見方・考え方	1後	2							兼2
	植物の生活史と進化	1後	2							兼1
	ヒトの生物学	1後	2							兼1
	火山のはなし	1後	2							兼1
	宇宙の成り立ち	1後	2			1				
専門基礎科目	微分積分 I	1前	2			1		1		
	線形代数 I	1前	2				2			
	物理学A(力学)	1前	2			1	1			
	微分積分 II	1後	2			1	1			
	線形代数 II	1後	2				2			
	コンピュータ入門	1後	2		1	1				
	コンピュータ演習	2前	1			2				
	物理学実験	1後	2		1				1	
	応用数学A(微分方程式)	2前	2		1	1				
	応用数学B(フーリエ解析)	2前	2			1				兼1
	応用数学C(ベクトル解析)	2前	2						1	
	物理学B(電磁気学)	2前	2						1	1
	物理学D(熱・波・光)	2前	2						1	
	応用数学D(複素関数論)	2後	2							兼1
	応用数学E(確率・統計)	2後	2					1		
	応用電磁気学	2後	2		1					
	工業日本語 I	1前	2							兼1
	工業日本語 II	1後	2							兼1
	工業日本語 III	2前	2							兼1
	工業日本語 IV	2後	2							兼1
	留学基礎英語	1~4前	2					1		
	学際実験・実習 I	2前	1						3	
	学際実験・実習 II	3前	1						3	
放射線安全工学	2後	2					2	1		
知的財産権の基礎知識	3後	2							兼1	
ベンチャービジネス概論	4前	2							兼1	
フロントランナー	3後	2					1			
ものづくり基礎工学	1後	2							1	
インターンシップ	3前	1						1		
海外短期インターンシップ I	1~4前	1						1		
海外短期インターンシップ II	1~4前	2						1		
職業指導	4前		2						兼1	
専門教育科目	機械・システム工学科概論 I	1前	2			2				兼1
	物理化学	1前	2					1		兼1
	機械・システム材料基礎	1前	2							兼1
	情報処理演習	1前	1							兼1
	人とロボット	1前	2		1					
	エネルギー環境概論	1前	2							兼1
	解析力学	1後	2			1			1	
	電気工学概論	1後	2					1		
	先端材料入門	1後	2		1					
	生物システム入門	1後	2		1					
	機械・システム工学科概論 II	1後	2		2	1				兼1
	計算機システム	1後	2					1		
	計測工学基礎	1後	2					1		
	製図・CAD基礎	2前	1			1			1	
	ロボットと医療・福祉	2前	2			1				
	量子力学	2後	2			1				
	制御工学 I	2後	2		1	1				
	創造演習 I	3前	1		7	11			2	2
	制御工学 II	3前	2		1	1				
	数値解析入門	3前	2			2				
	創造演習 II	3後	1		7	11			2	2
	科学技術英語	4前	2					1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	コース共通科目	製図基礎	1後	2			1					
		材料力学Ⅰ	2前	2			1					
		機構学	1後	2			1					
		機械工作実習	1後	1			1					
		材料力学Ⅱ	2後	2			1					
		機械材料	1後	2			1					
		熱力学Ⅰ	2前	2					1			
		流れ学Ⅰ	2前	2				1				
		機械推論基礎	2前	2				1				
		熱力学Ⅱ	2後	2			1					
	流れ学Ⅱ	2後	2			1						
	コース共通科目	機械力学Ⅰ	2後	2			1					
		メカトロニクス	2後	2			1					
		材料力学Ⅲ	3前	2			1					
		流体力学	3前	2				1				
		伝熱工学	3前	2			1					
		機械力学Ⅱ	3前	2			1					
		ロボットメカニズム	3前	2				1				
		ロボット材料学	3前	2				1				
		材料強度学	3後	2			1					
		ロボット制御論	3後	2				1				
	ロボットと非線形動力学	3後	2			1						
	機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2			1					
		加工学Ⅱ	2後	2			1					
		機械要素設計Ⅰ	2後	2			1					
		機械工学実験	3前	1			2	2		1		
		機械要素設計Ⅱ	3前	2			1					
		トライボロジー	3後	2			1					
		エネルギー変換	3後	2					1			
		流体機械	3後	2			1					
		生産システム工学	3後	2			1					
		ロボット・AIコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1			1	1		1	
	応用電気電子回路		2前	2			1					
デジタル回路	2前		2				1					
ロボットプログラムⅠ	2前		2				1					
生物とロボット	2前		2				1					
ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後		1				3				兼1	
ロボットプログラムⅡ	2後		2				1				兼1	
グラフィクスと認知	2後		2				1					
人工知能論	2後		2					1				
ものづくりを支える科学	2後		2				1					
信号処理	3前		2			1						
ロボットビジョン	3前		2				1					
インテリジェントシステム処理論	3前		2				1					
自律システム	3後	2				1						
生物ロボットの認知・情報処理	3後	2				1						
人とヒューマノイド	3後	2				1						
人間情報システム	3後	2				1						
ブレインマシンインターフェース	3後	2						1				
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前	2								兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2								兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2								兼3	
	原子カプラント工学	2後	2								兼1	
	放射線の医療応用	2後	2				1					
	放射線化学・生物学	2後	2								兼1	
	原子炉工学	3前	2								兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1				1				兼2	
	原子力材料学	3前	2								兼1	
	核燃料工学	3前	2								兼1	
リスク評価概論	3前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	コース共通科目	製図基礎	1後	2			1					
		材料力学Ⅰ	2前	2					1			
		機構学	1後	2			1					
		機械工作実習	1後	1			1					
		材料力学Ⅱ	2後	2			1					
		機械材料	1後	2			1					
		熱力学Ⅰ	2前	2					1			
		流れ学Ⅰ	2前	2				1				
		機械推論基礎	2前	2				1				
		熱力学Ⅱ	2後	2			1					
	流れ学Ⅱ	2後	2			1						
	コース共通科目	機械力学Ⅰ	2後	2			1					
		メカトロニクス	2後	2			1					
		材料力学Ⅲ	3前	2						1		
		流体力学	3前	2				1				
		伝熱工学	3前	2			1					
		機械力学Ⅱ	3前	2			1					
		ロボットメカニズム	3前	2				1				
		ロボット材料学	3前	2				1				
		材料強度学	3後	2			1					
		ロボット制御論	3後	2				1				
	ロボットと非線形動力学	3後	2			1						
	機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2			1					
		加工学Ⅱ	2後	2			1					
		機械要素設計Ⅰ	2後	2			1					
		機械工学実験	3前	1			2	2		1		
		機械要素設計Ⅱ	3前	2			1					
		トライボロジー	3後	2			1					
		エネルギー変換	3後	2					1			
		流体機械	3後	2			1					
		生産システム工学	3後	2			1					
		ロボット・AIコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1			1	1		1	
	応用電気電子回路		2前	2			1					
デジタル回路	2前		2				1					
ロボットプログラムⅠ	2前		2				1					
生物とロボット	2前		2				1					
ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後		1				3					
ロボットプログラムⅡ	2後		2				1					
グラフィクスと認知	2後		2				1					
人工知能論	2後		2					1				
ものづくりを支える科学	2後		2				1					
信号処理	3前		2			1						
ロボットビジョン	3前		2				1					
インテリジェントシステム処理論	3前		2				1					
自律システム	3後	2				1						
生物ロボットの認知・情報処理	3後	2				1						
人とヒューマノイド	3後	2				1						
人間情報システム	3後	2				1						
ブレインマシンインターフェース	3後	2						1				
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前	2								兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2								兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2								兼3	
	原子カプラント工学	2後	2								兼2	
	放射線の医療応用	2後	2				1					
	放射線化学・生物学	2後	2								兼1	
	原子炉工学	3前	2								兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1				1				兼4	
	原子力材料学	3前	2								兼1	
	核燃料工学	3前	2								兼1	
リスク評価概論	3前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1									兼3
	原子力・耐震耐津波工学	3後		2								兼1
	原子炉制御工学	3後		2								兼2
	廃止措置工学	3後		2								兼1
	放射線防護工学	3後		2								兼2
	原子力防災論	3後		2								兼2
	卒業研究	4通	8			13	15	2	2			
教職科目	工業概論	3前		2		2	1	1				兼6
	教職の意義Ⅰ(公教育と教職の意義)	1後		2								兼2
	教職の意義Ⅱ(学びの専門性としての教職)	2前		2								兼2
	成長・発達と学習の過程	2前		2								兼2
	教育の組織・制度・経営の基礎	2前		2								兼2
	理科教育法Ⅲ	3後		2								兼1
	学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)	3前		2								兼2
	学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)	3後		2								兼2
	教育実習(事前事後指導を含む)	4通		3								兼3
	教職実践演習(中・高)	4後		2								兼6
卒業要件及び履修方法												
<p>【機械工学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む20単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む17単位以上 コース共通科目:必修8単位を含む19単位以上 コース専門科目:必修5単位を含む7単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【ロボティクスコース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目:2単位以上 コース専門科目:必修2単位を含む10単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【原子力安全工学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目:必修8単位を含む10単位以上 コース専門科目:必修10単位を含む14単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1									兼6
	原子力・耐震耐津波工学	3後		2						1		兼1
	原子炉制御工学	3後		2								兼2
	廃止措置工学	3後		2								兼1
	放射線防護工学	3後		2								兼2
	原子力防災論	3後		2								兼2
	卒業研究	4通	8					15	16	8	2	
教職科目	工業概論	3前		2		2	1	1				兼6
	教職の意義Ⅰ(公教育と教職の意義)	1後		2								兼2
	教職の意義Ⅱ(学びの専門性としての教職)	2前		2								兼2
	成長・発達と学習の過程	2前		2								兼2
	教育の組織・制度・経営の基礎	2前		2								兼2
	理科教育法Ⅲ	3後		2								兼1
	学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)	3前		2								兼2
	学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)	3後		2								兼2
	教育実習(事前事後指導を含む)	4通		3								兼3
	教職実践演習(中・高)	4後		2								兼6
卒業要件及び履修方法												
<p>【機械工学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む20単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む17単位以上 コース共通科目:必修8単位を含む19単位以上 コース専門科目:必修5単位を含む7単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【ロボティクスコース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目:2単位以上 コース専門科目:必修2単位を含む10単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【原子力安全工学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目:必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目:必修8単位を含む10単位以上 コース専門科目:必修10単位を含む14単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
科目 目録	大学教育入門セミナー	1前	2			3	8	3	1	
	情報処理基礎	1前	2			1	4	3	1	
基礎 教育 科目	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		2						兼5
	スポーツ健康科学Ⅱ	1前		2						兼4
	英語Ⅰ	1前	1							兼18
	英語Ⅱ	1前	1							兼18
	英語Ⅲ	1後	1							兼18
	英語Ⅳ	1後	1							兼18
	英語Ⅴ	1前	1							兼18
	英語Ⅵ	1前	1							兼18
	ドイツ語Ⅰ	1①		1						兼1
	ドイツ語Ⅱ	1②		1						兼1
	ドイツ語Ⅲ	1③		1						兼1
	ドイツ語Ⅳ	1④		1						兼1
	フランス語Ⅰ	1①		1						兼1
	フランス語Ⅱ	1②		1						兼1
	フランス語Ⅲ	1③		1						兼1
	フランス語Ⅳ	1④		1						兼1
	中国語Ⅰ	1①		1						兼1
	中国語Ⅱ	1②		1						兼1
	中国語Ⅲ	1③		1						兼1
	中国語Ⅳ	1④		1						兼1
	日本語A	1前		1						兼1
	日本語B	1後		1						兼1
	日本語C	1前		1						兼1
	日本語D	1後		1						兼1
	日本語E	1前		1						兼1
	日本語F	1後		1						兼1
	日本語G	1前		1						兼1
	日本語H	1後		1						兼1
共通 教育 科目	<地域コア科目群>									
	ものづくり・産業振興・技術開発分野									
	現代社会とビジネス	1前		2						兼1
	現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2						兼1
	科学技術と社会	1前		2		1				
	衣生活の現状	1前		2						兼1
	ロボットの知能と学習	1前		2		1				
	進化する繊維の技術	1前		2		2	2			兼1
	現場で役立つ機器分析	1前		2			1			
	半導体の科学	1後		2						兼1
	繊維の世界	1後		2		2	2	0	1	
	新素材の世界	1後		2		1	2			
	地方創生モデルの事例研究―鹿児島―	1後		2						兼1
	ふくいを知る・見る・考えるⅡ	1後		2						兼1
	持続可能な社会・環境づくり分野									
	こども環境学入門	1後		2						兼1
	環境問題と社会	1前		2						兼0
	まちづくり論	1前		2		1	2			
	都市と建築の環境	1後		2		1		2		
	科学技術と環境	1前		2		2	1	1		
科学技術と倫理	1後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	地域の局地気象	1前		2								兼1
	自然史と生物	1前		2								兼1
	日本海地域の自然と環境	1前		2								兼1
	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	1前		2		1						
	地球の環境	1後		2								兼1
	福井の経済と経営者	1前		2								兼1
	コミュニティと住民組織	1前		2								兼1
	地域科学コミュニケーション	1前		2								兼2
	これからの地方創生と経営学	1前		2								兼1
	ふくいを知る・見る・考える	1前		2								兼2
	原子力・エネルギー分野											
	電磁波と物質	1前		2								兼3
	エネルギー科学	1後		2		1						
	生活の中の熱とエネルギー	1後		2		1						
	熱と流れ	1後		2		2						
	エネルギーと環境	1後		2		1						
	災害の科学	1後		2		2	1	3	1			
	災害ボランティア論	1後		2		1						
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後		2								兼5
	放射線利用－医学と産業－	1前		2		1						兼5
	地域の防災・危機管理	1前		2				1				兼2
	<教養教育科目群>											
	人間関係・言語コミュニケーション分野											
	批判的思考を伸ばす	1前		2								兼1
	「社会がわかる」とは？	1前		2								兼1
	心を探る(人間関係論)	1前		2								兼1
	こころの発達と健康	1前		2								兼1
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後		2								兼1
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後		2								兼3
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後		2								兼3
	子どもと学校	1後		2								兼1
	教えることと学ぶこと	1後		2								兼1
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1前		2								兼2
	学問の入り口	1後		2								兼1
	生まれること、産むこと	1前		2								兼1
	健康科学・医科学概論	1後		2								兼15
	ニューススポーツと健康生活	1前		2								兼1
	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前		2								兼1
	健康メディアリテラシー	1後		2								兼1
	ネット環境(バーチャル)世界の発展と課題	1後		2								
	哲学的人間学Ⅰ	1後		2								兼1
	哲学的人間学Ⅱ	1後		2								兼1
	日本思想	1前		2								兼1
	宗教と哲学	1前		2								兼1
	哲学入門	1前		2								兼1
哲学とは何か	1後		2								兼1	
スピーキングⅠ	1前		2								兼1	
リスニングⅡ	1前		2								兼1	
ライティングⅠ	1前		2								兼1	
ライティングⅡ	1後		2								兼1	
リーディング	1後		2								兼1	
ヨーロッパの言語事情	1前		2								兼1	
多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーションA)	1後		2								兼1	
多文化コミュニケーション(日本語コミュニケーションB)	1前		2								兼1	
多文化コミュニケーション(異文化コミュニケーションC)	1前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通教育科目	言語生活論	1前		2							兼1	
	言語表現	1後		2							兼1	
	応用日本語Ⅰ	1前		2							兼1	
	応用日本語Ⅱ	1後		2							兼1	
	中国語の世界1	1前		2							兼1	
	中国語の世界2	1後		2							兼1	
	中国語の世界3	1前		2							兼1	
	中国語の世界4	1後		2							兼1	
	ドイツ語の世界1	1前		2							兼1	
	ドイツ語の世界2	1後		2							兼1	
	ドイツ語の世界3	1前		2							兼1	
	ドイツ語の世界4	1後		2							兼1	
	フランス語の世界1	1前		2							兼1	
	フランス語の世界2	1後		2							兼1	
	フランス語の世界3	1前		2							兼1	
	フランス語の世界4	1後		2							兼1	
	こころの成長	1前		2							兼2	
	世界の歴史から学ぶ—世界のつながり—と現代の歴史—	1後		2							兼1	
	歴史・文化理解分野											
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前		2								兼1
	東洋史B(近代日本とアジア展開)	1後		2								兼1
	日本史(中世社会の転換)	1後		2								兼1
	日本史(近世社会の展開)	1前		2								兼1
	発展途上国の人間地生態	1前		2								兼1
	地図に見る歴史と景観	1前		2								兼1
	「歴史」のトピックス(国史文を軸から歴史教育まで)	1前		2								兼1
	ラテン語とキリスト教	1前		2								兼1
	アメリカの文化	1後		2								兼1
	フランス文学入門	1前		2								兼1
	フランスの文化A(文学と絵画)	1前		2								兼1
	フランスの文化B(ジャコブスムとその時代)	1後		2								兼1
	ヨーロッパの映画	1後		2								兼1
	ドイツの文化	1前		2								兼1
	中国の文化	1後		2								兼1
	中国のことば	1前		2								兼1
	中国の古典文学	1前		2								兼1
	日本語の歴史	1後		2								兼1
	白川文字学	1後		2								兼1
	日本の文化	1前		2								兼1
	日本事情A(日本語と文化)	1前		2								兼1
	日本事情B(社会と文化)	1後		2								兼1
	近現代の音楽芸術	1前		2								兼1
	合唱の魅力を探る	1前		2								兼1
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後		2								兼1
	ピアノの魅力をさぐる	1後		2								兼1
	現代音楽入門	1後		2								兼1
	生活と美術—みる、えがく、つくる	1前		2								兼1
	造形美術の世界—表現世界の多様性	1前		2								兼1
	造形美術の世界—絵画	1前		2								兼1
	考古学入門	1後		2								兼1
社会経済・科学技術分野												
経済学A(金融って何だろう)	1後		2								兼1	
経済学B(現代社会とワークルール)	1前		2								兼1	
経済学C(経済学の基礎理論)	1前		2								兼1	
マネジメント入門	1前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	共通教育科目	憲法概論	1前	2							兼1
		日本国憲法	1前	2							兼1
		主権者意識をはぐくむ	1後	2							兼1
		社会学A(相互行為論入門)	1前	2							兼1
		社会学B(現代農村の社会学)	1後	2							兼1
		政治学A(現代政治学入門)	1前	2							兼1
		政治学B(戦後日本の政治)	1後	2							兼1
		ジェンダー論	1後	2							兼1
		音と振動	1前	2		1					
		バイオの世界	1前	2		3	3				
		電子の世界	1前	2		1					
		生体機能と化学物質	1後	2		2	4				
		数値計算の考え方	1前	2		1					
		計算機システムの基礎	1前	2		1	1				
		コンピュータと情報処理	1前	2							兼1
		生体情報工学	1前	2				1			
		宮沢賢治と非線形科学	1後	2			1				
		ゲームとパズルの数学	1後	2							兼1
		数学の歴史	1後	2							兼1
		数学のこぼれで理解する物理学	1後	2			1				
		対称性と微分方程式	1前	2			1				
		ランダム現象の記述	1後	2							兼1
		物理と微積分	1前	2							兼1
		科学的な見方・考え方	1後	2							兼2
		植物の生活史と進化	1後	2							兼1
		ヒトの生物学	1後	2							兼1
火山のはなし	1後	2							兼1		
宇宙の成り立ち	1後	2				0					
キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)	1後	2							兼1		
専門教育科目	専門基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2			1	1			
		線形代数Ⅰ	1前	2			2				
		物理学A(力学)	1前	2			1	1			
		微分積分Ⅱ	1後	2			1	1			
		線形代数Ⅱ	1後	2			1	1			
		コンピュータ入門	1後	2			1	1			
		コンピュータ演習	2前	1				2			
		物理学実験	1後	2			1		1		
		応用数学A(微分方程式)	2前	2			1	1			
		応用数学B(フーリエ解析)	2前	2			1				兼1
		応用数学C(ベクトル解析)	2前	2			1				
		物理学B(電磁気学)	2前	2				1	1		
		物理学D(熱・波・光)	2前	2				1			
		応用数学D(複素関数論)	2後	2							兼1
		応用数学E(確率・統計)	2後	2			1				
		応用電磁気学	2後	2				1			
		工業日本語Ⅰ	1前	2							兼1
		工業日本語Ⅱ	1後	2							兼1
		工業日本語Ⅲ	2前	2							兼1
		工業日本語Ⅳ	2後	2							兼1
留学基礎英語	1~4前後	2			1						
学際実験・実習Ⅰ	2前	1				3					
学際実験・実習Ⅱ	3前	1				3					
放射線安全工学	2後	2			2	1			兼1		
知的財産権の基礎知識	3後	2							兼1		
ベンチャービジネス概論	4前	2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	フロントランナー	3後		2		1						兼1
	ものづくり基礎工学	1後		2			1					
	インターンシップ	3前		1		1						
	海外短期インターンシップⅠ	1～4前後		1		1						
	海外短期インターンシップⅡ	1～4前後		2		1						
	職業指導	4前			2							兼1
専門科目	機械・システム工学科概論Ⅰ	1前		2		2						兼1
	物理化学	1前		2			1					兼1
	機械・システム材料基礎	1前		2								兼1
	情報処理演習	1前		1								兼1
	人とロボット	1前		2		1						
	エネルギー環境概論	1前		2								兼1
	解析力学	1後		2			1		1			
	電気工学概論	1後		2		1						
	先端材料入門	1後		2			1					
	生物システム入門	1後		2			1					
	機械・システム工学科概論Ⅱ	1後		2		2						兼1
	計算機システム	1後		2		1						
	計測工学基礎	1後		2		1						
	製図・CAD基礎	2前		1		1	1					
	ロボットと医療・福祉	2前		2			1					
	量子力学	2後		2		1						
	制御工学Ⅰ	2後		2		1	1					
	創造演習Ⅰ	3前	1				4					
	制御工学Ⅱ	3前		2		1	1					
	数値解析入門	3前		2		1	1					
創造演習Ⅱ	3後	1				4						
科学技術英語	4前		2		1							
コース共通科目	製図基礎	1後		2			1					
	材料力学Ⅰ	2前		2			1					
	機構学	1後		2			1					
	機械工作実習	1後		1		1						
	材料力学Ⅱ	2後		2		1						兼1
	機械材料	1後		2								
	熱力学Ⅰ	2前		2			1					
	流れ学Ⅰ	2前		2			1					
	機械推論基礎	2前		2			1					
	熱力学Ⅱ	2後		2		1						
	流れ学Ⅱ	2後		2		1						
	機械力学Ⅰ	2後		2		1						
	メカトロニクス	2後		2		1						
	材料力学Ⅲ	3前		2					1			
	流体力学	3前		2			1					
	伝熱工学	3前		2		1						
	機械力学Ⅱ	3前		2		1						
	ロボットメカニズム	3前		2			1					
ロボット材料学	3前		2			1						
材料強度学	3後		2			1						
ロボット制御論	3後		2			1						
ロボットと非線形動力学	3後		2		1							
機械工学コース科目	加工学Ⅰ	2前	2			1						
	加工学Ⅱ	2後		2		1						
	機械要素設計Ⅰ	2後	2				1					
	機械工学実験	3前	1			1	2		1			
	機械要素設計Ⅱ	3前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	機械工学コース科目	トライボロジー	3後	2			1						
	エネルギー変換	3後	2				1						
	流体機械	3後	2			1							
	生産システム工学	3後	2			1							
	ロボティクスコース科目	ロボット工学基礎実験Ⅰ	2前	1			1	1	1				
		応用電気電子回路	2前	2			1						
		デジタル回路	2前	2			1						
		ロボットプログラムⅠ	2前	2				1					
		生物とロボット	2前	2				1					
		ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後	1				3					
		ロボットプログラムⅡ	2後	2			1						
		グラフィクスと認知	2後	2				1					
		人工知能論	2後	2			1						
		ものづくりを支える科学	2後	2				1					
		信号処理	3前	2				1					
		ロボットビジョン	3前	2				1					
		インテリジェントシステム処理論	3前	2				1					
		自律システム	3後	2				1					
		生物ロボットの認知・情報処理	3後	2				1					
		人とヒューマノイド	3後	2				1					
人間情報システム	3後	2				1							
ブレインマシンインターフェース	3後	2						1					
原子力安全工学コース科目	放射化学	2前	2									兼1	
	原子炉物理学序論	2前	2									兼1	
	核燃料サイクル工学入門	2前	2									兼3	
	原子炉工学	2後	2									兼2	
	放射線の医療応用	2後	2				1						
	放射線化学・生物学	2後	2									兼1	
	原子炉工学	3前	2									兼1	
	原子力安全工学実験Ⅰ	3前	1			2						兼4	
	原子力材料学	3前	2									兼1	
	核燃料工学	3前	2									兼1	
	リスク評価概論	3前	2									兼1	
	原子力安全工学実験Ⅱ	3後	1						1			兼6	
	原子力・耐震耐津波工学	3後	2									兼1	
	原子炉制御工学	3後	2									兼2	
廃止措置工学	3後	2									兼1		
放射線防護工学	3後	2									兼2		
原子力防災論	3後	2									兼2		
卒業研究	4通	8				15	16	7	3			兼8	
教職科目	工業概論	3前			2	5	2					兼1	
	教職の意義Ⅰ(公教育と教職の意義)	1後			1							兼2	
	教職の意義Ⅱ(学びの専門性としての教職)	2前			1							兼2	
	成長・発達と学習の過程	2前			2							兼2	
	教育の組織・制度・経営の基礎	2前			2							兼1	
	理科教育法Ⅲ	3後			2	1						兼2	
	学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)	3前			2							兼2	
	学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)	3後			2							兼2	
	教育実習(事前事後指導を含む)	4通			3							兼3	
教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業要件及び履修方法											
<p>【機械工学コース】 共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修18単位を含む20単位以上 学科共通科目: 必修12単位を含む17単位以上 コース共通科目: 必修8単位を含む19単位以上 コース専門科目: 必修5単位を含む7単位以上 卒業研究: 必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【ロボティクスコース】 共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目: 必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目: 2単位以上 コース専門科目: 必修2単位を含む10単位以上 卒業研究: 必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p> <p>【原子力安全工学コース】 共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修18単位を含む22単位以上 学科共通科目: 必修12単位を含む14単位以上 コース共通科目: 必修8単位を含む10単位以上 コース専門科目: 必修10単位を含む14単位以上 卒業研究: 必修8単位 合計124単位以上を修得する。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・共通教育改革にともない、科目区分等の変更を含むカリキュラム改編の実施により、「共通教育科目」を全て変更。
- ・COO+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「地方創生福井モデルの事例研究—鯖江学—」、「これからの地方創生と経営学」、「ふくいを知る・見る・考える」の科目を追加。
- ・退職により教員を見直し、「環境問題と社会」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・教育内容充実のため「海外短期インターンシップⅡ」の単位を「1」から「2」に変更。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、「職業指導」を教職科目から移動。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目「幾何学概論」取り下げ。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目「工業概論」を追加。
- ・「教職の意義Ⅰ」を「教職の意義Ⅰ（公教育と教職の意義）」に副題の追記。
- ・「教職の意義Ⅱ」を「教職の意義Ⅱ（学びの専門職としての教師）」に副題の追記。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、「教育の組織・制度・経営」を「教育の組織・制度・経営の基礎」に科目名称を変更。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目「カリキュラムと教育方法」取り下げ。
- ・教職課程認定申請の指摘事項対応のため、「中等理科教育法Ⅱ」から「理科教育法Ⅲ」に科目名称を変更及び開設時期を「3前」から「3後」に変更。

【平成29年度】

- ・教育効果向上のため、「情報処理基礎」の専任教員「准教授8→4、講師0→3、助教0→1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「進化する繊維の技術」の専任教員「教授1」を「教授2」及び「兼1」に追加。
- ・退職により教員を見直し、「繊維の世界」の専任教員「助教1→0」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・退職により教員を見直し、「都市と建築の環境」の専任教員「教授2→1、兼0→1」に変更。
- ・COO+事業に伴う地域志向科目の充実のため、科目「ふくいを知る・見る・考えるⅡ」、「地域の自然と環境（福井や日本海地域を中心に）」を追加。
- ・教育効果向上のため、「科学技術と環境」の専任教員「教授1→2、准教授2→1、講師0→1」へ変更。
- ・教育効果向上のため、「コミュニティと住民組織」の配当年次を「1年前期→1年後期」に変更。
- ・「エネルギー科学」教員の昇任のため「准教授1→教授1」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「災害の科学」の専任教員「教授2→1、准教授1→2、講師2→1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教員異動のため、「放射線利用-医学と産業-」の「兼5→兼4」となり専任教員「講師1」を追加。
- ・教員異動のため、「地域の防災・危機管理」の「兼3→兼2」となり専任教員「講師1」を追加。
- ・教育効果向上のため、「アクティブ・ラーニングと生涯学習」、「学問の入り口」、「歴史」のトリビア（歴史文化論から歴史教育まで）、「マネジメント入門」、「主権者意識をはぐむ」、「コンピューターと情報処理」の科目を追加。
- ・退職により教員を見直し、「ネット型球技（バレーボール）指導の理論と実際」の兼任・兼任教員を「兼1」から「兼0」に変更。後任補充予定。
- ・「微分積分Ⅰ」教員の採用のため及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→講師1」へ修正。
- ・「線形代数Ⅰ」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授2」へ修正。
- ・「微分積分Ⅱ」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→准教授1」へ修正。
- ・「線形代数Ⅱ」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授2」へ修正。
- ・「物理学実験」教員の採用のため「兼1→講師1」へ変更。
- ・「応用数学B（フーリエ解析）」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「応用数学C（ベクトル解析）」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→准教授1」へ修正。
- ・「物理学B（電磁気学）」教員の昇任のため「助教1→講師1」に変更及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→准教授1」へ修正。
- ・「物理学D（熱・波・光）」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→准教授1」へ修正。
- ・「創造演習Ⅱ」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「教授7→0、准教授11→2、講師0→2、助教1→0、兼8→0」へ変更。
- ・「科学技術英語」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「教授13→1、准教授15→0、講師2→0、助教2→0」へ変更。
- ・「材料力学Ⅰ」教員の退職による教員を見直したため「教授1→講師1」へ変更。
- ・「熱力学Ⅰ」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「材料力学Ⅲ」教員の退職による教員を見直したため「教授1→講師1」へ変更。
- ・「材料強度学」教員の退職による教員を見直したため「教授1→講師1」へ変更。
- ・「機械工学実験」教員の昇任のため「助教1→講師1」へ変更。
- ・「エネルギー変換」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「ロボット工学基礎実験Ⅰ」教員の昇任のため「助教1→講師1」へ変更。
- ・「ロボットプログラムⅡ」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「人工知能論」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「ブレインマシンインターフェース」教員の昇任のため「助教1→講師1」へ変更。
- ・「原子カプラント工学」教育内容充実のため「兼1→兼2」へ変更。
- ・「原子力安全工学実験Ⅰ」教育内容充実のため「教授0→1、兼2→兼4」へ変更。
- ・「原子力安全工学実験Ⅱ」教育内容充実のため「講師0→1、兼3→兼6」へ変更。
- ・「卒業研究」教員の異動及び教育内容充実のため「教授13→15、准教授15→16、講師2→8、兼0→8」へ変更。
- ・「工業概論」教員の退職のため及び記載の誤りのため「教授2→4、准教授1→3、講師1→0、兼6→1」へ変更。
- ・「教職の意義Ⅰ（公教育と教職の意義）」記載の誤りのため、単位数を「2→1」へ修正。
- ・「教職の意義Ⅱ（学びの専門職としての教師）」記載の誤りのため、単位数を「2→1」へ修正。
- ・「教育の組織・制度・経営の基礎」教員の退職のため「兼2→1」へ変更。
- ・「理科教育法Ⅲ」教育内容の充実のため「兼1→2」へ変更。
- ・「教職実践演習（中・高）」教員の退職のため「兼6→5」へ変更。
- ・「計算機システム」工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「応用数学E（確率・統計）」科目内容の見直したため及び工学基礎教育支援センターに係る教員を兼任教員としていたため「兼2→教授1」へ修正。
- ・「放射線安全工学」教育内容充実のため「教授1→2、准教授0→1、兼4→1」に変更。
- ・「機械・システム工学科概論Ⅰ」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「准教授1→兼1」に変更。
- ・「物理化学」教員の昇任のため「講師1→准教授1」に変更。
- ・「情報処理演習」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「准教授1→兼1」に変更。
- ・「解析力学」教員の昇任のため「助教1→講師1」に変更。
- ・「機械・システム工学科概論Ⅱ」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「准教授1→兼1」に変更。
- ・「製図・CAD基礎」教員退職による教員見直したため「兼1→教授1」に変更。
- ・「創造演習Ⅰ」教育効果向上のための科目の教員体制を見直したため「教授7→0、准教授11→2、講師0→2、助教1→0、兼8→0」に変更。
- ・「留学基礎英語」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「学際実験・実習Ⅰ」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼3→准教授3」へ修正。
- ・「学際実験・実習Ⅱ」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼3→准教授3」へ修正。
- ・「フロンランナー」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「ものづくり基礎工学」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→講師1」へ修正。
- ・「インターンシップ」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「海外短期インターンシップⅠ」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。
- ・「海外短期インターンシップⅡ」他学科の教員を兼任教員としていたため、専任教員「兼1→教授1」へ修正。

【平成30年度】

- ・教育効果向上のため、教員を見直し、「繊維の世界」の「准教授1→2、講師1→助教1」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「まちづくり論」の「教授2→1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、教員を見直し「都市と建築の環境」の「兼1→講師2」に変更。
- ・教育効果向上のため、「ふくいを知る・見る・考える」の兼任・兼担教員を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「電磁波と物質」の兼任・兼担教員を「兼4」から「兼3」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「災害の科学」の「教授1→2、准教授2→1、講師1→3、助教1」に追加変更。
- ・教育効果向上のため教員を見直し、「放射線利用-医学と産業-」の「講師1→0、兼4→5」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間の科学特別演習C(障害児)」の兼任・兼担教員を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果向上のため、「こころの成長」の科目を追加。
- ・COO+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「教育の歴史から学ぶ～窓ぎわのトットちゃん～と近代の教育～」、「キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)」の科目を追加。
- ・教育効果向上のため、「バイオの世界」の「教授2→3、准教授2→3」に変更。
- ・教育効果向上のため、「生体機能と化学物質」の「教授1→2、准教授3→4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「計算機システムの基礎」の「教授1」を追加。
- ・「機械材料」教員の退職による教員を見直しのため「教授1→兼1」へ変更。
- ・「線形代数Ⅱ」教員の退職による教員を見直しのため「教授2→教授1と准教授1」へ変更。
- ・「応用数学C(ベクトル解析)」教員の昇任により「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「ものづくり基礎工学」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「創造演習Ⅰ」教員の昇任のため「准教授2→4、講師2→0」へ変更。
- ・「創造演習Ⅱ」教員の昇任のため「准教授2→4、講師2→0」へ変更。
- ・「機械工学実験」教員の退職による教員を見直しのため「教授2→教授1」へ変更。
- ・「材料力学Ⅰ」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「材料強度学」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「信号処理」教員の退職による教員を見直しのため「教授1→准教授1」へ変更。
- ・「数値解析入門」教員の昇任のため「准教授2→教授1と准教授1」へ変更。
- ・「原子力安全工学実験Ⅰ」教員の昇任のため「教授1と准教授1→教授2」へ変更。
- ・「卒業研究」教員の採用及び教育内容充実のため「講師8→7、助教2→3」へ変更。
- ・「工業概論」教員の昇任のため「教授4→5、准教授3→2」へ変更。
- ・「ディジタル回路」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「フロントランナー」教育内容の充実のため「兼1」を追加。
- ・「スポーツ健康科学Ⅰ」教員の退職による教員を見直しのため「兼7→5」へ変更。
- ・「ロボットの知能と学習」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「宇宙の成り立ち」教員の退職により「教授1→0」へ変更。後任補充予定。

【令和元年度】

- ・教育効果向上のため教員を見直し、「情報処理基礎」の「准教授4→5、講師3→4」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「バイオの世界」の「准教授3→2」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教員死亡による退職により教員を見直し、「批判的思考を伸ばす」の兼任・兼担教員を「兼1→0」に変更。後任補充予定。
- ・退職により教員を見直し、「生まれること、産むこと」の兼任・兼担教員を「兼1→0」に変更。後任補充予定。
- ・教育効果向上のため、「東日本大震災をどう受け止めるか」の兼任・兼担教員を「兼5→6」に変更。
- ・教育効果向上のため、「進化する繊維の技術」の「教授2→1、講師0→1」に変更。
- ・教育効果向上のため教員を見直し、「繊維の世界」の「教授2→1、准教授2→1」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「生体機能と化学物質」の「教授2→1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、「アクティブ・ラーニングと生涯学習」の兼任・兼担教員を「兼2→4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「都市と建築の環境」の「准教授0→1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「科学技術と環境」の「准教授1→2」に変更。
- ・教育効果向上のため教員を見直し、「電磁波と物質」の「兼3→2」に変更。
- ・教育効果向上のため教員を見直し、「放射線利用-医学と産業-」の「講師0→1、兼5→4」に変更。
- ・教育効果向上のため、「コンピュータと情報処理」の兼任・兼担教員を「兼1→2」に変更。
- ・退職により教員を見直し、「ふくいを知る・見る・考える」の兼任・兼担を「兼2→1」に変更。複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため、科目の教員体制の見直しを行い、「医療概論Ⅰ」の兼任・兼担教員を「兼20→25」に変更。
- ・COO+事業に伴う地域志向科目の充実のため、「情報化社会の現在と未来」の科目を追加。
- ・教育効果向上のため、「心理学的支援法」、「健康管理と食生活」、「数学史入門」、「近現代文化昆虫学」、「モノから読み解く文化財学」、「アートと地域コミュニティー」、「日本文学の楽しみ」、「対話と直感と共感で学ぶ物理」、「数学的活動」、「数と方程式」、「産業社会の中のセンサ技術」の科目を追加。
- ・「機械・システム工学科概論Ⅰ」教員の昇任及び退職のため教員体制を見直し「教授2→16、准教授0→15、講師0→6、助教0→2、兼1→兼8」へ変更。
- ・「機械・システム工学科概論Ⅱ」教員の昇任及び退職のため教員体制を見直し「教授2→16、准教授0→15、講師0→6、助教0→2、兼1→兼8」へ変更。
- ・「製図・CAD基礎」教員の昇任のため「教授1→2、准教授1→0」へ変更。
- ・「量子力学」教員の退職のため「教授1→兼1」へ変更。
- ・「科学技術英語」教員の昇任及び退職のため教員体制を見直し「教授1→16、准教授0→15、講師0→6、助教0→2、兼0→8」へ変更。
- ・「製図基礎」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「材料力学Ⅲ」教員の昇任のため「講師1→准教授1」へ変更。
- ・「機械要素設計Ⅰ」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「機械要素設計Ⅱ」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「トライボロジー」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「ロボット工学基礎実験Ⅰ」教員の昇任のため教員体制を見直し「教授1→7、准教授1→6」へ変更。
- ・「ロボット工学基礎実験Ⅱ」教員の昇任のため教員体制を見直し「教授0→7、准教授3→6、講師0→1」へ変更。
- ・「自律システム」教員の昇任のため「准教授1→教授1」へ変更。
- ・「卒業研究」教員の昇任及び退職のため教員体制を見直し「教授15→16、准教授16→15、講師7→6、助教3→2」へ変更。
- ・「工業概論」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「講師0→2」へ変更。
- ・教育職員免許法及び同施行規則改正のため、科目「工業科教育法Ⅰ」、「工業科教育法Ⅱ」、「教育の理念・歴史・思想」、「特別教育支援総論」、「カリキュラムと教育方法」、「総合的な学習の時間と特別活動」を追加。
- ・「理科教育法Ⅲ」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼2→兼0」へ変更。
- ・「教職の意義Ⅰ(公教育と教職の意義)」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼2→兼3」へ変更。
- ・「教職の意義Ⅱ(学びの専門職としての教師)」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼2→兼3」へ変更。
- ・「教育の組織・制度・経営の基礎」教育効果向上のための科目の教員体制を見直しのため「兼1→兼2」へ変更。
- ・「学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼2→兼3」へ変更。
- ・「学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼2→兼3」へ変更。
- ・「教育実習(事前事後指導を含む)」教育職員免許法及び同施行規則改正のため「兼3→兼4」へ変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
41 科目	238 科目	24 科目	303 科目	41 科目 [0]	261 科目 [23]	29 科目 [5]	331 科目 [28]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	幾何学概論	2	4前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
2	カリキュラムと教育方法	2	3前	専門	選択	教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目取り下げ
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p><大学の所見> いずれの科目も教員免許取得のための教職科目として開講予定であったが、「幾何学概論」は、教職課程認定申請の指摘事項対応のため、科目を取り下げたものであり不都合はない。また、「カリキュラムと教育方法」は、教育学部で開講する科目を受講させることとしたため、不都合はない。</p> <p><学生への周知方法> 「カリキュラムと教育方法」については、学生便覧及び授業時間割において教育学部開設科目であることを周知し、他学部科目として履修するよう指導する。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{303} = \boxed{0.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	267,651㎡	㎡	㎡	267,651㎡			
	運動場用地	94,273㎡	㎡	㎡	94,273㎡			
	小 計	361,924㎡	㎡	㎡	361,924㎡			
	そ の 他	181,060㎡	㎡	㎡	181,060㎡			
	合 計	542,984㎡	㎡	㎡	542,984㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		138,456㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	138,456㎡ (㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	71室	99室	426室	18室 (補助職員 3人)	4室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部機械・システム工学科			41 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 購入計画の見直しのため(30)
	工学部機械・システム工学科	676,470 [203,071] (663,311 [201,333]) (663,628 [196,401])	35,620 [6,610] (32,516 [19,308]) (37,291 [24,707])	17,650 [900] (15,344 [14,032]) (17,650 [900])	6,326 (5,436) (6,008)	6,000 (5,893)	1 (1)	
	計	676,470 [203,071] (663,311 [201,333]) (663,628 [196,401])	35,620 [6,610] (32,516 [19,308]) (37,291 [24,707])	17,650 [900] (15,344 [14,032]) (17,650 [900])	6,326 (5,436) (6,008)	6,000 (5,893)	1 (1)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	8,653㎡		827		788,333			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	3,929㎡		屋外球技コート, プール, 野球場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)による
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
教育学部	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	-	-	-	平成28年度から学部名称変更
学校教育課程	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.03	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
教育地域科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	平成23	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年度から学生募集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士 (地域科学)	-	-	平成23	同上	平成28年度から学生募集停止
医学部		170	2年次 ₅	925		1.01	-	-	-	
医学科	6	110	2年次 ₅	685	学士 (医学)	1.00	平成30	昭和55	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士 (看護学)	1.03	-	平成9	同上	
工学部	4	525	3年次 ₄₀	2180	学士 (工学)	1.02	-	-	-	
機械・システム工学科	4	155	3年次 ₁₀	640	学士 (工学)	1.01	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
電気電子情報工学科	4	125	3年次 ₂₀	540	学士 (工学)	1.02	-	平成28	同上	
建築・都市環境工学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士 (工学)	1.05	-	平成28	同上	
物質・生命化学科	4	135	-	540	学士 (工学)	1.03	-	平成28	同上	
応用物理学科	4	50	-	200	学士 (工学)	1.05	-	平成28	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
情報・システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
建築建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
材料開発工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
生物応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
物理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成11	同上	平成28年度から学生募集停止
国際地域学部	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.05	-	平成28	-	
国際地域学科	4	60	-	240	学士 (国際地域)	1.05	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
大学全体	-	855	45	3745	-	-	-	-	-	
大学の名称	福井大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
教育学研究科										
学校教育専攻 (修士課程)	2	27	-	54	修士 (教育学)	0.82	-	平成20	福井県福井市文京3丁目9番1号	

福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科												
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	40	-	80	教職修士 (専門職)	0.84	-	平成30	福井県福井市文京 3丁目9番1号			
医学系研究科												
看護学専攻 (修士課程)	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.83	-	平成13	福井県吉田郡永平寺町松 岡下合月23号3番地			
統合先進医学専攻 (博士課程)	4	25	-	100	博士 (医学)	0.90	-	平成25	同上			
先端応用医学専攻 (博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	平成20	同上		平成25年度から学生 募集停止	
工学研究科												
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	32	-	64	修士 (工学)	1.32	-	平成15	福井県福井市文京 3丁目9番1号			
電気・電子工学 専攻 (博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (工学)	0.98	-	平成15	同上			
情報・メディア工学 専攻 (博士前期課程)	2	31	-	62	修士 (工学)	1.09	-	平成15	同上			
建築建設工学専攻 (博士前期課程)	2	28	-	56	修士 (工学)	0.94	-	平成15	同上			
材料開発工学専攻 (博士前期課程)	2	24	-	48	修士 (工学)	1.20	-	平成15	同上			
生物応用化学専攻 (博士前期課程)	2	21	-	42	修士 (工学)	1.23	-	平成15	同上			
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (工学)	1.05	-	平成15	同上			
知能システム工学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士 (工学)	1.07	-	平成15	同上			
繊維先端工学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (工学)	1.83	-	平成25	同上			
原子力・エネルギー 安全工学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士 (工学)	0.75	-	平成16	同上			
総合創成工学専攻 (博士後期課程)	3	22	-	66	博士 (工学)	0.92	-	平成25	同上			
システム設計工学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成5	同上		平成25年度から学生 募集停止	
大学院全体	-	379	-	830								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<共通>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】
※共通教育改革に伴うカリキュラム改編後

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	理事 副学長	岩井 善部 <平成28年4月> 工学博士	岩井 善部	兼任	理事 副学長	岩井 善部 <平成28年4月> 工学博士	岩井 善部	兼任	理事 副学長	岩井 善部 <平成28年4月> 工学博士	岩井 善部	兼任	理事 副学長	岩井 善部 <平成28年4月> 工学博士	岩井 善部
		地方創生福井モデルの事例研究－ 鯖江学－ ふくいを知る・見る・考える	地方創生福井モデルの事例研究－ 鯖江学－ ふくいを知る・見る・考える												
兼任	教授	石井パークマン 麻子 <平成28年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子	兼任	教授	石井パークマン 麻子 <平成28年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子	兼任	教授	石井パークマン 麻子 <平成28年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子	兼任	教授	石井パークマン 麻子 <平成28年4月> Specialpedagogexamen (スウェーデン)	石井パークマン 麻子
		人間の科学特別演習C (障害児)	人間の科学特別演習C (障害児)												
兼任	教授	服部 由美子 <平成28年4月> 家政修士	服部 由美子	兼任	教授	服部 由美子 <平成28年4月> 家政修士	服部 由美子	兼任	教授	服部 由美子 <平成28年4月> 家政修士	服部 由美子	兼任	教授	服部 由美子 <平成28年4月> 家政修士	服部 由美子
		衣生活の現状	衣生活の現状												
兼任	教授	宗倉 啓 <平成28年4月> 教育学修士	宗倉 啓	兼任	教授	宗倉 啓 <平成28年4月> 教育学修士	宗倉 啓	兼任	教授	宗倉 啓 <平成28年4月> 教育学修士	宗倉 啓	兼任	教授	宗倉 啓 <平成28年4月> 教育学修士	宗倉 啓
		スポーツ健康科学Ⅰ ニュースポーツと健康生活	スポーツ健康科学Ⅰ ニュースポーツと健康生活												
兼任	教授	澤崎 久和 <平成28年4月> 文学修士	澤崎 久和	兼任	教授	澤崎 久和 <平成28年4月> 文学修士	澤崎 久和	兼任	教授	澤崎 久和 <平成28年4月> 文学修士	澤崎 久和	兼任	教授	澤崎 久和 <平成28年4月> 文学修士	澤崎 久和
		中国の古典文学	中国の古典文学												
兼任	教授	坂田 登 <平成28年4月> 文学修士	坂田 登	兼任	教授	坂田 登 <平成28年4月> 文学修士	坂田 登	兼任	教授	坂田 登 <平成28年4月> 文学修士	坂田 登	兼任	教授	坂田 登 <平成28年4月> 文学修士	坂田 登
		哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教	哲学的人間学Ⅰ 哲学的人間学Ⅱ ラテン語とキリスト教												
兼任	教授	寺尾 健夫 <平成28年4月> 教育学修士	寺尾 健夫	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成28年4月> 教育学修士	寺尾 健夫	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成28年4月> 教育学修士	寺尾 健夫	兼任	教授	寺尾 健夫 <平成28年4月> 教育学修士	寺尾 健夫
		批判的思考を伸ばす	批判的思考を伸ばす												
兼任	教授	高木 裕美 <平成28年4月> 修士(教育学)	高木 裕美	兼任	教授	高木 裕美 <平成28年4月> 修士(教育学)	高木 裕美	兼任	教授	高木 裕美 <平成28年4月> 修士(教育学)	高木 裕美	兼任	教授	高木 裕美 <平成28年4月> 修士(教育学)	高木 裕美
		ピアノの魅力をさぐる	ピアノの魅力をさぐる												
兼任	教授	大山 利夫 <平成28年4月> 理学博士	大山 利夫	兼任	教授	大山 利夫 <平成28年4月> 理学博士	大山 利夫	兼任	教授	大山 利夫 <平成28年4月> 理学博士	大山 利夫	兼任	教授	大山 利夫 <平成28年4月> 理学博士	大山 利夫
		ヒトの生物学	ヒトの生物学												
兼任	教授	水沢 利栄 <平成28年4月> 体育学修士	水沢 利栄	兼任	教授	水沢 利栄 <平成28年4月> 体育学修士	水沢 利栄	兼任	教授	水沢 利栄 <平成28年4月> 体育学修士	水沢 利栄	兼任	教授	水沢 利栄 <平成28年4月> 体育学修士	水沢 利栄
		スポーツ健康科学Ⅱ アウトドアスポーツとバリアフリー	スポーツ健康科学Ⅱ アウトドアスポーツとバリアフリー												
兼任	教授	濱口 由美 <平成28年4月> 修士(教育学)	濱口 由美	兼任	教授	濱口 由美 <平成28年4月> 修士(教育学)	濱口 由美	兼任	教授	濱口 由美 <平成28年4月> 修士(教育学)	濱口 由美	兼任	教授	濱口 由美 <平成28年4月> 修士(教育学)	濱口 由美
		生活と美術－みる、えがく、つくる	生活と美術－みる、えがく、つくる												
兼任	教授	安倍 博 <平成28年4月> 医学博士	安倍 博	兼任	教授	安倍 博 <平成28年4月> 医学博士	安倍 博	兼任	教授	安倍 博 <平成28年4月> 医学博士	安倍 博	兼任	教授	安倍 博 <平成28年4月> 医学博士	安倍 博
		健康科学・医科学概論 ※	健康科学・医科学概論 ※												
兼任	教授	山本 博文 <平成28年4月> 博士(理学)	山本 博文	兼任	教授	山本 博文 <平成28年4月> 博士(理学)	山本 博文	兼任	教授	山本 博文 <平成28年4月> 博士(理学)	山本 博文	兼任	教授	山本 博文 <平成28年4月> 博士(理学)	山本 博文
		日本海地域の自然と環境 地球の環境	日本海地域の自然と環境 地球の環境												
兼任	教授	大久保 貢 <平成28年4月> 工学士	大久保 貢	兼任	教授	大久保 貢 <平成28年4月> 工学士	大久保 貢	兼任	教授	大久保 貢 <平成28年4月> 工学士	大久保 貢	兼任	教授	大久保 貢 <平成28年4月> 工学士	大久保 貢
		半導体の科学	半導体の科学												
兼任	教授	高山 善行 <平成28年4月> 博士(文学)	高山 善行	兼任	教授	高山 善行 <平成28年4月> 博士(文学)	高山 善行	兼任	教授	高山 善行 <平成28年4月> 博士(文学)	高山 善行	兼任	教授	高山 善行 <平成28年4月> 博士(文学)	高山 善行
		日本語の歴史	日本語の歴史												
兼任	教授	渡谷 政子 <平成28年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子	兼任	教授	渡谷 政子 <平成28年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子	兼任	教授	渡谷 政子 <平成28年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子	兼任	教授	渡谷 政子 <平成28年4月> 博士(音楽学)	渡谷 政子
		近現代の音楽芸術	近現代の音楽芸術												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	教授	栗原 一嘉 <平成28年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	栗原 一嘉 <平成28年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	栗原 一嘉 <平成28年4月> 博士(理学)	物理と微積分	兼任	教授	栗原 一嘉 <平成28年4月> 博士(理学)	物理と微積分
兼任	教授	西村 保三 <平成28年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成28年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成28年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学	兼任	教授	西村 保三 <平成28年4月> 博士(理学)	ゲームとパズルの数学
兼任	教授	湊 七雄 <平成28年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界-絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成28年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界-絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成28年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界-絵画	兼任	教授	湊 七雄 <平成28年4月> Meester in Beeldende Kunst (ベルギー)	造形美術の世界-絵画
兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	谷澤 昭彦 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医科学概論 ※
兼任	准教授	梅村 憲子 <平成28年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成28年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成28年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る	兼任	准教授	梅村 憲子 <平成28年4月> 芸術学士	合唱の魅力を探る
兼任	准教授	木村 哲也 <平成28年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成28年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成28年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-	兼任	准教授	木村 哲也 <平成28年4月> 博士(医学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業-
兼任	教授	五井 孝憲 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	教授	五井 孝憲 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医科学概論 ※
兼任	准教授	竹内 恵子 <平成28年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成28年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成28年4月> 医学士	生まれること、産むこと	兼任	准教授	竹内 恵子 <平成28年4月> 医学士	生まれること、産むこと
兼任	教授	吉村 治広 <平成28年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成28年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成28年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	兼任	教授	吉村 治広 <平成28年4月> 博士(教育学)	ポピュラー音楽の魅力をさぐる
兼任	教授	風間 寛司 <平成28年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	教授	風間 寛司 <平成28年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	准教授	風間 寛司 <平成28年4月> 修士(教育学)	数学の歴史	兼任	准教授	風間 寛司 <平成28年4月> 修士(教育学)	数学の歴史 教学生入門
兼任	教授	伊達 正起 <平成28年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成28年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成28年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ	兼任	教授	伊達 正起 <平成28年4月> 修士(教育学)	リスニングⅡ
兼任	准教授	嶋吹 覚 <平成28年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	嶋吹 覚 <平成28年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	嶋吹 覚 <平成28年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)	兼任	准教授	嶋吹 覚 <平成28年4月> 修士(文学)	日本語B 日本語G 日本の文化 日本事情A (日本語と文化) 日本事情B (社会と文化)
兼任	准教授	松友 一雄 <平成28年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	准教授	松友 一雄 <平成28年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	教授	松友 一雄 <平成28年4月> 博士(教育学)	言語生活論 言語表現	兼任	教授	松友 一雄 <平成28年4月> 博士(教育学)	言語表現
兼任	准教授	稲垣 良介 <平成28年4月> 修士(教育学)	ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際	兼任	准教授	稲垣 良介 <平成28年4月> 修士(教育学)	ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際								
兼任	教授	橋本 康弘 <平成28年4月> 修士(教育学)	「社会がわかる」とは？ 主権者意識をばくくむ	兼任	教授	橋本 康弘 <平成28年4月> 修士(教育学)	「社会がわかる」とは？ 主権者意識をばくくむ	兼任	教授	橋本 康弘 <平成28年4月> 修士(教育学)	「社会がわかる」とは？ 主権者意識をばくくむ	兼任	教授	橋本 康弘 <平成28年4月> 修士(教育学)	「社会がわかる」とは？ 主権者意識をばくくむ
兼任	准教授	坂本 太郎 <平成28年4月> 修士(芸術)	造形美術の世界-表現世界の多様性	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成28年4月> 修士(芸術)	造形美術の世界-表現世界の多様性	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成28年4月> 修士(芸術)	造形美術の世界-表現世界の多様性	兼任	准教授	坂本 太郎 <平成28年4月> 修士(芸術)	造形美術の世界-表現世界の多様性
兼任	准教授	千原 一泰 <平成28年4月> 博士(バイオサイエンス)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	准教授	千原 一泰 <平成28年4月> 博士(バイオサイエンス)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	准教授	千原 一泰 <平成28年4月> 博士(バイオサイエンス)	健康科学・医科学概論 ※	兼任	准教授	千原 一泰 <平成28年4月> 博士(バイオサイエンス)	健康科学・医科学概論 ※
兼任	教授	門井 直哉 <平成28年4月> 博士(文学)	地図に見る歴史と景観	兼任	教授	門井 直哉 <平成28年4月> 博士(文学)	地図に見る歴史と景観	兼任	教授	門井 直哉 <平成28年4月> 博士(文学)	地図に見る歴史と景観	兼任	教授	門井 直哉 <平成28年4月> 博士(文学)	地図に見る歴史と景観

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	准教授	保科 英人 <平成28年4月> 博士(農学)	保科 英人 自然史と生物	兼任	准教授	保科 英人 <平成28年4月> 博士(農学)	保科 英人 自然史と生物	兼任	准教授	保科 英人 <平成28年4月> 博士(農学)	保科 英人 自然史と生物	兼任	准教授	保科 英人 <平成28年4月> 博士(農学)	保科 英人 自然史と生物 近現代文化史由学
兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成28年4月> 修士(人間科学)	廣澤 愛子 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成28年4月> 修士(人間科学)	廣澤 愛子 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成28年4月> 修士(人間科学)	廣澤 愛子 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	廣澤 愛子 <平成28年4月> 修士(人間科学)	廣澤 愛子 人間の科学特別演習B (心理学) 心理学的支援法 総合的な学習の時間と特別活動 学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む) 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)
兼任	准教授	岸 俊行 <平成28年4月> 博士(人間科学)	岸 俊行 心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成28年4月> 博士(人間科学)	岸 俊行 心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成28年4月> 博士(人間科学)	岸 俊行 心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	岸 俊行 <平成28年4月> 博士(人間科学)	岸 俊行 心を探る(人間関係論) 人間の科学特別演習B (心理学) 情報化社会の現在と未来
兼任	准教授	山田 吉英 <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	山田 吉英 科学的な見方・考え方	兼任	准教授	山田 吉英 <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	山田 吉英 科学的な見方・考え方	兼任	准教授	山田 吉英 <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	山田 吉英 科学的な見方・考え方	兼任	准教授	山田 吉英 <平成28年4月> 博士(人間・環境学)	山田 吉英 科学的な見方・考え方 科学的な見方・考え方 対話と直感と共感で学ぶ物理 理科教育法Ⅱ
兼任	准教授	大和 真希子 <平成28年4月> 修士(教育学)	大和 真希子 人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校	兼任	准教授	大和 真希子 <平成28年4月> 修士(教育学)	大和 真希子 人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校	兼任	准教授	大和 真希子 <平成28年4月> 修士(教育学)	大和 真希子 人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校	兼任	准教授	大和 真希子 <平成28年4月> 修士(教育学)	大和 真希子 人間の科学特別演習A (教育学) 子どもと学校
兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成28年4月> 修士(教育学)	遠藤 貴広 教えることと学ぶこと	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成28年4月> 修士(教育学)	遠藤 貴広 教えることと学ぶこと	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成28年4月> 修士(教育学)	遠藤 貴広 教えることと学ぶこと	兼任	准教授	遠藤 貴広 <平成28年4月> 修士(教育学)	遠藤 貴広 教えることと学ぶこと アクティブ・ラーニングと生涯 学習 ※ アクティブ・ラーニングと生涯 学習 ※
兼任	准教授	大西 将史 <平成28年4月> 博士(学術)	大西 将史 こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	大西 将史 <平成28年4月> 博士(学術)	大西 将史 こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	大西 将史 <平成28年4月> 博士(学術)	大西 将史 こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学)	兼任	准教授	大西 将史 <平成28年4月> 博士(学術)	大西 将史 こころの発達と健康 人間の科学特別演習B (心理学) 情報化社会の現在と未来 学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む) 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む)
兼任	准教授	星谷 文生 <平成28年4月> 博士(音楽)	星谷 文生 現代音楽入門	兼任	准教授	星谷 文生 <平成28年4月> 博士(音楽)	星谷 文生 現代音楽入門	兼任	准教授	星谷 文生 <平成28年4月> 博士(音楽)	星谷 文生 現代音楽入門	兼任	准教授	星谷 文生 <平成28年4月> 博士(音楽)	星谷 文生 現代音楽入門
兼任	准教授	Dylan Jones <平成28年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	Dylan Jones 英語Ⅲ 英語Ⅳ ライティングⅠ	兼任	准教授	Dylan Jones <平成28年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	Dylan Jones 英語Ⅲ 英語Ⅳ ライティングⅠ	兼任	准教授	Dylan Jones <平成28年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	Dylan Jones 英語Ⅲ 英語Ⅳ ライティングⅠ	兼任	准教授	Dylan Jones <平成28年4月> M.A. (ENGLISH) (カナダ)	Dylan Jones 英語Ⅲ 英語Ⅳ ライティングⅠ
兼任	准教授	西沢 徹 <平成28年4月> 博士(理学)	西沢 徹 地域科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	准教授	西沢 徹 <平成28年4月> 博士(理学)	西沢 徹 地域科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	准教授	西沢 徹 <平成28年4月> 博士(理学)	西沢 徹 地域科学コミュニケーション 植物の生活史と進化	兼任	准教授	西沢 徹 <平成28年4月> 博士(理学)	西沢 徹 地域科学コミュニケーション 植物の生活史と進化
兼任	准教授	本田 安都子 <平成28年4月> 博士(文学)	本田 安都子 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成28年4月> 博士(文学)	本田 安都子 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成28年4月> 博士(文学)	本田 安都子 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ アメリカの文化	兼任	准教授	本田 安都子 <平成28年4月> 博士(文学)	本田 安都子 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ アメリカの文化
兼任	准教授	山田 孝禎 <平成28年4月> 博士(学術)	山田 孝禎 スポーツ健康科学Ⅱ 健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝禎 <平成28年4月> 博士(学術)	山田 孝禎 スポーツ健康科学Ⅱ 健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝禎 <平成28年4月> 博士(学術)	山田 孝禎 スポーツ健康科学Ⅱ 健康メディアリテラシー	兼任	准教授	山田 孝禎 <平成28年4月> 博士(学術)	山田 孝禎 スポーツ健康科学Ⅱ 健康メディアリテラシー
兼任	准教授	三好 雅也 <平成28年4月> 博士(理学)	三好 雅也 火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成28年4月> 博士(理学)	三好 雅也 火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成28年4月> 博士(理学)	三好 雅也 火山のはなし	兼任	准教授	三好 雅也 <平成28年4月> 博士(理学)	三好 雅也 火山のはなし

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 太一 <平成28年4月> 博士(文学)
兼任	助教	森川 美羽 <平成28年4月> 博士(医学)
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)
兼任	教授	寺岡 英男 <平成28年4月> 教育学修士※ 東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR <平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
兼任	教授	伊藤 勇 <平成28年4月> 文学修士※ 社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学)
兼任	教授	横井 正信 <平成28年4月> 法学修士※ 政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治)
兼任	教授	木村 亮 <平成28年4月> 経済学修士※ 経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルル)
兼任	教授	木原 泰紀 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI
兼任	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※ フランス語I フランス語II フランス文学入門 ヨーロッパの映画
兼任	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士 発展途上国の人間地生態
兼任	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI ヨーロッパの言語事情
兼任	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD <平成28年4月> B.A. Magna Cum Laude (米国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 太一 <平成28年4月> 博士(文学)
兼任	助教	森川 美羽 <平成28年4月> 博士(医学)
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)
兼任	教授	寺岡 英男 <平成28年4月> 教育学修士※ 東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR <平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
兼任	教授	伊藤 勇 <平成28年4月> 文学修士※ 社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学)
兼任	教授	横井 正信 <平成28年4月> 法学修士※ 政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治)
兼任	教授	木村 亮 <平成28年4月> 経済学修士※ 経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルル)
兼任	教授	木原 泰紀 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI
兼任	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※ フランス語I フランス語II フランス文学入門 ヨーロッパの映画
兼任	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士 発展途上国の人間地生態
兼任	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI ヨーロッパの言語事情
兼任	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD <平成28年4月> B.A. Magna Cum Laude (米国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 太一 <平成28年4月> 博士(文学)
兼任	助教	森川 美羽 <平成28年4月> 博士(医学)
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)
兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育学) 「歴史」のトリビダ(歴史文化 論から歴史教育まで)
兼任	教授	寺岡 英男 <平成28年4月> 教育学修士※ 東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR <平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
兼任	教授	伊藤 勇 <平成28年4月> 文学修士※ 社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学)
兼任	教授	横井 正信 <平成28年4月> 法学修士※ 政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治)
兼任	教授	木村 亮 <平成28年4月> 経済学修士※ 経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルル)
兼任	教授	木原 泰紀 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI
兼任	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※ フランス語I フランス語II フランス文学入門 ヨーロッパの映画
兼任	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士 発展途上国の人間地生態
兼任	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI ヨーロッパの言語事情
兼任	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD <平成28年4月> B.A. Magna Cum Laude (米国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 太一 <平成28年4月> 博士(文学)
兼任	助教	森川 美羽 <平成28年4月> 博士(医学)
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)
兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育学) 「歴史」のトリビダ(歴史文化 論から歴史教育まで)
兼任	教授	寺岡 英男 <平成28年4月> 教育学修士※ 東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR <平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
兼任	教授	伊藤 勇 <平成28年4月> 文学修士※ 社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学)
兼任	教授	横井 正信 <平成28年4月> 法学修士※ 政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治)
兼任	教授	木村 亮 <平成28年4月> 経済学修士※ 経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルル)
兼任	教授	木原 泰紀 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI
兼任	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※ フランス語I フランス語II フランス文学入門 ヨーロッパの映画
兼任	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士 発展途上国の人間地生態
兼任	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI ヨーロッパの言語事情
兼任	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD <平成28年4月> B.A. Magna Cum Laude (米国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中村 太一 <平成28年4月> 博士(文学)
兼任	助教	森川 美羽 <平成28年4月> 博士(医学)
兼任	特命助教	佐藤 直樹 <平成29年4月> 博士(社会学)
兼任	講師	中切 正人 <平成29年10月> 博士(教育学) 「歴史」のトリビダ(歴史文化 論から歴史教育まで)
兼任	教授	寺岡 英男 <平成28年4月> 教育学修士※ 東日本大震災をどう受け止めるか※
兼任	教授	LEHNER ALBERT JOSEPH JR <平成28年4月> Doctor of Philosophy, Second Language Acquisition(米国)
兼任	教授	伊藤 勇 <平成28年4月> 文学修士※ 社会学A(相互行為論入門) 社会学B(現代農村の社会学)
兼任	教授	横井 正信 <平成28年4月> 法学修士※ 政治学A(現代政治学入門) 政治学B(戦後日本の政治)
兼任	教授	木村 亮 <平成28年4月> 経済学修士※ 経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルル)
兼任	教授	木原 泰紀 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI
兼任	教授	松田 和之 <平成28年4月> 文学修士※ フランス語I フランス語II フランス文学入門 ヨーロッパの映画
兼任	教授	月原 敏博 <平成28年4月> 文学修士 発展途上国の人間地生態
兼任	教授	皆島 博 <平成28年4月> 文学修士※ 英語III 英語IV 英語V 英語VI ヨーロッパの言語事情
兼任	准教授	JANNUZI CHARLES EDWARD <平成28年4月> B.A. Magna Cum Laude (米国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	永井 崇弘 <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国のことば	兼任	准教授	永井 崇弘 <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国のことば	兼任	准教授	永井 崇弘 <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国のことば	兼任	准教授	永井 崇弘 <平成28年4月> 修士(文学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国のことば
兼任	准教授	羽田野 慶子 <平成28年4月> 修士(教育学)※	ジェンダー論	兼任	准教授	羽田野 慶子 <平成28年4月> 修士(教育学)※	ジェンダー論	兼任	准教授	羽田野 慶子 <平成28年4月> 修士(教育学)※	ジェンダー論	兼任	准教授	羽田野 慶子 <平成28年4月> 修士(教育学)※	ジェンダー論
兼任	准教授	今井 祐子 <平成28年4月> 博士(学術)	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランスの文化A(文学と絵画) 【隔年】 フランスの文化B(『邦・コ・ム』とその時代)【隔年】 フランス語の世界1 フランス語の世界2	兼任	准教授	今井 祐子 <平成28年4月> 博士(学術)	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランスの文化A(文学と絵画) 【隔年】 フランスの文化B(『邦・コ・ム』とその時代)【隔年】 フランス語の世界1 フランス語の世界2	兼任	准教授	今井 祐子 <平成28年4月> 博士(学術)	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランスの文化A(文学と絵画) 【隔年】 フランスの文化B(『邦・コ・ム』とその時代)【隔年】 フランス語の世界1 フランス語の世界2	兼任	准教授	今井 祐子 <平成28年4月> 博士(学術)	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ フランスの文化A(文学と絵画) 【隔年】 フランスの文化B(『邦・コ・ム』とその時代)【隔年】 フランス語の世界1 フランス語の世界2
兼任	准教授	磯崎(中田) 康太郎 <平成28年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツの文化	兼任	准教授	磯崎(中田) 康太郎 <平成28年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツの文化	兼任	准教授	磯崎(中田) 康太郎 <平成28年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツの文化	兼任	准教授	磯崎(中田) 康太郎 <平成28年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツの文化
兼任	准教授	田村(佐藤) 容子 <平成28年4月> 修士(文学)※	中国語の世界3 中国語の世界4 中国の文化	兼任	准教授	田村(佐藤) 容子 <平成28年4月> 修士(文学)※	中国語の世界3 中国語の世界4 中国の文化	兼任	准教授	田村(佐藤) 容子 <平成28年4月> 修士(文学)※	中国語の世界3 中国語の世界4 中国の文化	兼任	准教授	田村(佐藤) 容子 <平成28年4月> 修士(文学)※	中国語の世界3 中国語の世界4 中国の文化
兼任	講師	東村(魚津) 純子 <平成28年4月> 博士(文学)	考古学入門	兼任	講師	東村(魚津) 純子 <平成28年4月> 博士(文学)	考古学入門	兼任	講師	東村(魚津) 純子 <平成28年4月> 博士(文学)	考古学入門	兼任	講師	東村(魚津) 純子 <平成28年4月> 博士(文学)	考古学入門
兼任	講師	田中 志敬 <平成28年4月> 修士(社会学)※	コミュニティと住民組織	兼任	講師	田中 志敬 <平成28年4月> 修士(社会学)※	コミュニティと住民組織	兼任	講師	田中 志敬 <平成28年4月> 修士(社会学)※	コミュニティと住民組織	兼任	講師	田中 志敬 <平成28年4月> 修士(社会学)※	コミュニティと住民組織
兼任	講師	飯田 健志 <平成28年4月> 博士(経済学)	経済学C(経済学の基礎理論)	兼任	講師	飯田 健志 <平成28年4月> 博士(経済学)	経済学C(経済学の基礎理論)	兼任	講師	飯田 健志 <平成28年4月> 博士(経済学)	経済学C(経済学の基礎理論)	兼任	講師	飯田 健志 <平成28年4月> 博士(経済学)	経済学C(経済学の基礎理論)
兼任	講師	中村 友哉 <平成29年4月> 博士(経営学)	マネジメント入門	兼任	講師	中村 友哉 <平成29年4月> 博士(経営学)	マネジメント入門	兼任	講師	中村 友哉 <平成29年4月> 博士(経営学)	マネジメント入門	兼任	講師	中村 友哉 <平成29年4月> 博士(経営学)	マネジメント入門
兼任	助教	HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT <平成28年4月> 修士(日本語 教育学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT <平成28年4月> 修士(日本語 教育学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT <平成28年4月> 修士(日本語 教育学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	HENNESSY CHRISTOPHER ROBERT <平成28年4月> 修士(日本語 教育学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	助教	BECCE NICOLANGELO <平成28年4月> PhD Comparative Literature (イタリア)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	BECCE NICOLANGELO <平成28年4月> PhD Comparative Literature (イタリア)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	BECCE NICOLANGELO <平成28年4月> PhD Comparative Literature (イタリア)	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	助教	BECCE NICOLANGELO <平成28年4月> PhD Comparative Literature (イタリア)	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	LOMBARDI IVAN <平成28年4月> Ph. D. in Language Teaching Methodology Doctoral School of Language Sciences and Literature (イタリア)	英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	助教	渡邊 綾 <平成28年4月> 博士(学術)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	渡邊 綾 <平成28年4月> 博士(学術)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	渡邊 綾 <平成28年4月> 博士(学術)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	助教	渡邊 綾 <平成28年4月> 博士(学術)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	助教	木曾 久美子 <平成29年4月> 博士(工学)	都市と建築の環境 ※	兼任	助教	木曾 久美子 <平成29年4月> 博士(工学)	都市と建築の環境 ※	兼任	助教	木曾 久美子 <平成29年4月> 博士(工学)	都市と建築の環境 ※	兼任	助教	木曾 久美子 <平成29年4月> 博士(工学)	都市と建築の環境 ※
兼任	教授	酒井 明子 <平成28年4月> 修士(教育学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※	兼任	教授	酒井 明子 <平成28年4月> 修士(教育学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※	兼任	教授	酒井 明子 <平成28年4月> 修士(教育学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※	兼任	教授	酒井 明子 <平成28年4月> 修士(教育学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名												
兼任	教授	松岡 達 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松岡 達 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松岡 達 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松岡 達 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※
兼任	教授	岩崎 博道 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	岩崎 博道 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	岩崎 博道 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	岩崎 博道 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※
兼任	教授	吉田 好雄 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	吉田 好雄 <平成28年4月> 医学博士	健康科学・医学概論 ※
兼任	教授	松崎 秀夫 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	松崎 秀夫 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※
兼任	教授	小林 基弘 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	小林 基弘 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※
兼任	准教授	松本 英樹 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	松本 英樹 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※
兼任	教授	鳥田 一部 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※	兼任	教授	鳥田 一部 <平成28年4月> 博士(医学)	健康科学・医学概論 ※
兼任	准教授	桑原 陽子 <平成28年4月> 博士(学術)	日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC)	兼任	准教授	桑原 陽子 <平成28年4月> 博士(学術)	日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC)	兼任	准教授	桑原 陽子 <平成28年4月> 博士(学術)	日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC)	兼任	准教授	桑原 陽子 <平成28年4月> 博士(学術)	日本語C 日本語E 日本語H 多文化コミュニケーションA (異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC (異文化コミュニケーションC)
兼任	准教授	三浦 麻 <平成28年4月> 博士(農学)	地域の局地気象	兼任	准教授	三浦 麻 <平成28年4月> 博士(農学)	地域の局地気象	兼任	准教授	三浦 麻 <平成28年4月> 博士(農学)	地域の局地気象	兼任	准教授	三浦 麻 <平成28年4月> 博士(農学)	地域の局地気象
兼任	准教授	長谷川 裕子 <平成28年4月> 博士(文学)	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開)	兼任	准教授	長谷川 裕子 <平成28年4月> 博士(文学)	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開)	兼任	准教授	長谷川 裕子 <平成28年4月> 博士(文学)	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開)	兼任	准教授	長谷川 裕子 <平成28年4月> 博士(文学)	日本史(中世社会の転換) 日本史(近世社会の展開)
兼任	准教授	清水 泰幸 <平成28年4月> 修士(法学)	憲法概論 日本国憲法	兼任	准教授	清水 泰幸 <平成28年4月> 修士(法学)	憲法概論 日本国憲法	兼任	准教授	清水 泰幸 <平成28年4月> 修士(法学)	憲法概論 日本国憲法	兼任	准教授	清水 泰幸 <平成28年4月> 修士(法学)	憲法概論 日本国憲法
兼任	准教授	山次 俊介 <平成29年4月> 博士(学術)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	山次 俊介 <平成29年4月> 博士(学術)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	山次 俊介 <平成29年4月> 博士(学術)	健康科学・医学概論 ※	兼任	准教授	山次 俊介 <平成29年4月> 博士(学術)	健康科学・医学概論 ※
兼任	准教授	竹本 拓治 <平成28年4月> 博士(政策科学)	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	兼任	准教授	竹本 拓治 <平成28年4月> 博士(政策科学)	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	兼任	准教授	竹本 拓治 <平成28年4月> 博士(政策科学)	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	兼任	准教授	竹本 拓治 <平成28年4月> 博士(政策科学)	現代社会とビジネス 現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ
兼任	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	ランダム現象の記述	兼任	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	ランダム現象の記述	兼任	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	ランダム現象の記述	兼任	准教授	松本 智恵子 <平成28年4月> 博士(理学)	ランダム現象の記述
兼任	講師	Malcolm Wayne Anthony <平成28年4月> Master of Arts (Major: International Management) (米国)	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	兼任	講師	Malcolm Wayne Anthony <平成28年4月> Master of Arts (Major: International Management) (米国)	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	兼任	講師	Malcolm Wayne Anthony <平成28年4月> Master of Arts (Major: International Management) (米国)	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI	兼任	講師	Malcolm Wayne Anthony <平成28年4月> Master of Arts (Major: International Management) (米国)	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 英語 V 英語 VI

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	逸見 洋二郎 <平成28年4月> 修士(英語学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	逸見 洋二郎 <平成28年4月> 修士(英語学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	逸見 洋二郎 <平成28年4月> 修士(英語学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	逸見 洋二郎 <平成28年4月> 修士(英語学)	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
				兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月>	ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月>	ふくいを知る・見る・考えるⅡ ふくいを知る・見る・考えるⅡ	兼任	特命教授	吉田 史朗 <平成29年10月>	ふくいを知る・見る・考えるⅡ ふくいを知る・見る・考えるⅡ
												兼任	教授	橋本 義司 <平成31年4月> 博士(理学)	数と方程式
												兼任	准教授	村上 亜由美 <平成31年4月> 博士(家政学)	健康管理と食生活
												兼任	准教授	大塚内 多徳 <平成31年4月> 博士(理学)	コンピュータと情報処理
												兼任	准教授	血原 正純 <平成31年4月> 教育学士	アクティブ・ラーニングと生涯学習
												兼任	准教授	藤中 泰雅典 <平成31年4月> 修士(教育学)	言語生活論
								兼任	准教授	高橋 哲也 <平成30年4月> 博士(医学)	こころの成長※				
												兼任	准教授	佐藤 敏 <平成30年4月> 修士(教育学)	日本語A 日本語D 日本語F 応用日本語Ⅰ 応用日本語Ⅱ
												兼任	准教授	石川 和彦 <平成31年4月> 博士(工学)	産業界の中でのセンサ技術
				兼任	特命講師	京本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	学園の入り口	兼任	特命講師	京本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	学園の入り口	兼任	特命講師	京本 智雄 <平成29年4月> 博士(学術)	学園の入り口
								兼任	特命講師	後藤 敏文 <平成30年4月> 修士(臨床心理学)	こころの成長※				
												兼任	講師	口分田 政史 <平成31年4月> 修士(教育学)	数学的活動
												兼任	講師	岡崎 玲子 <平成31年4月>	こころの成長
												兼任	特命講師	林 聖希恵 <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	こころの成長
												兼任	助教	酒井 彰久 <平成31年4月> 修士(看護学)	東日本大震災をどう受け止めるか ※

<工学部>

(一) 担当教員表

【認可時又は提出時】
※共通教育改革に伴うカリキュラム改編後

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	太田 淳一 <平成28年4月> 工学博士				
		熱と流れ ※ 線形代数Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 流体力学Ⅱ 流体機械 卒業研究				
専任	教授	大津 雅亮 <平成28年4月> 博士(工学)				
		機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究	機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究	機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究	機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 機械工作実習 加工学Ⅰ 加工学Ⅱ 工業概論 卒業研究
専任	教授	鞍谷 文保 <平成28年4月> 工学博士				
		音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究	音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究	音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究	音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 音と振動 線形代数Ⅱ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 卒業研究
専任	教授	竹下 晋正 <平成28年4月> 工学博士	竹下 晋正 <平成28年4月> 工学博士	竹下 晋正 <平成28年4月> 工学博士	竹下 晋正 <平成28年4月> 工学博士	
		微分積分Ⅱ 機械材料 機械工学実験 卒業研究	微分積分Ⅱ 機械材料 機械工学実験 卒業研究	微分積分Ⅱ 機械材料 機械工学実験 卒業研究		
専任	教授	永井 二郎 <平成28年4月> 博士(工学)				
		熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究	熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究	熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究	熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 熱と流れ ※ 熱力学Ⅱ 伝熱工学 機械工学実験 卒業研究
専任	教授	山田 泰弘 <平成28年4月> 博士(工学)				
		コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究	コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究	コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究	コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 コンピュータ入門 電気工学概論 メカトロニクス 生産システム工学 卒業研究
専任	准教授	太田 貴士 <平成29年4月> 博士(工学)				
		コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 卒業研究	コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 卒業研究	コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 卒業研究	コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 コンピュータ演習 数値解析入門 流体力学 微分積分Ⅱ 卒業研究
専任	准教授	川井 昌之 <平成29年4月> 博士(工学)				
		応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究	応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究	応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究	応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 応用数学A(微分方程式) 制御工学Ⅰ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	川谷 亮治 <平成30年4月> 工学博士									
		創造演習Ⅰ 制御工学Ⅱ 創造演習Ⅱ 機械工学実験 卒業研究			創造演習Ⅰ 制御工学Ⅱ 創造演習Ⅱ 機械工学実験 卒業研究			創造演習Ⅰ 制御工学Ⅱ 創造演習Ⅱ 機械工学実験 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 創造演習Ⅰ 制御工学Ⅱ 創造演習Ⅱ 機械工学実験 卒業研究
専任	准教授	酒井 康行 <平成28年4月> 博士(工学)									
		物理化学 熱力学Ⅰ エネルギー変換 工業概論 卒業研究			物理化学 熱力学Ⅰ エネルギー変換 工業概論 卒業研究			物理化学 熱力学Ⅰ エネルギー変換 工業概論 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 熱力学Ⅰ エネルギー変換 工業概論 卒業研究
専任	准教授	新谷 真功 <平成28年4月> 工学博士									
		情報処理基礎 物理学A(力学) 解析力学 機構学 卒業研究			情報処理基礎 物理学A(力学) 解析力学 機構学 卒業研究			情報処理基礎 物理学A(力学) 解析力学 機構学 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 情報処理基礎 物理学A(力学) 解析力学 機構学 卒業研究
専任	准教授	田中 太 <平成29年4月> 博士(工学)									
		創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 流体力学Ⅰ 機械工学実験 卒業研究			創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 流体力学Ⅰ 機械工学実験 卒業研究			創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 流体力学Ⅰ 機械工学実験 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 流体力学Ⅰ 機械工学実験 卒業研究
専任	准教授	本田 知己 <平成28年4月> 博士(工学)									
		製図・CAD基礎 製図基礎 機械要素設計Ⅰ 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 卒業研究			製図・CAD基礎 製図基礎 機械要素設計Ⅰ 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 卒業研究			製図・CAD基礎 製図基礎 機械要素設計Ⅰ 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 製図・CAD基礎 製図基礎 機械要素設計Ⅰ 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 卒業研究
専任	講師	岡田 将人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	講師	岡田 将人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	講師	岡田 将人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	准教授	岡田 将人 <平成28年4月> 博士(工学)
		ものづくり基礎工学 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 卒業研究			ものづくり基礎工学 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 卒業研究			ものづくり基礎工学 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ものづくり基礎工学 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 卒業研究
専任	講師	旭吉 雅健 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	旭吉 雅健 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	旭吉 雅健 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	准教授	旭吉 雅健 <平成29年4月> 博士(工学)
		創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 材料力学Ⅰ 材料強度学 卒業研究			創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 材料力学Ⅰ 材料強度学 卒業研究			創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 材料力学Ⅰ 材料強度学 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 創造演習Ⅰ 創造演習Ⅱ 材料力学Ⅰ 材料強度学 卒業研究
専任	講師	福島 啓悟 <平成31年4月> 博士(工学)									
		卒業研究			卒業研究			卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 卒業研究
専任	講師	Xiao-Wen Lei <平成30年4月> 博士(工学)	専任	講師	Xiao-Wen Lei <平成30年4月> 博士(工学)	専任	講師	Xiao-Wen Lei <平成30年4月> 博士(工学)	専任	准教授	Xiao-Wen Lei <平成30年4月> 博士(工学)
		材料力学Ⅲ 卒業研究			材料力学Ⅲ 卒業研究			材料力学Ⅲ 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 材料力学Ⅲ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	講師	吉田 達哉 <平成30年4月> 博士(工学)									
	機械工学実験 卒業研究			機械工学実験 卒業研究			機械工学実験 卒業研究			機械工学実験 卒業研究	
専任	助教	三浦 拓也 <平成31年4月> 博士(工学)									
	卒業研究			卒業研究			卒業研究			卒業研究	
専任	教授	高田 宗樹 <平成28年4月> 博士(理学)									
	物理学A(力学) 応用数学B(フーリエ解析) 生物ロボットの認知・情報処理 卒業研究			物理学A(力学) 応用数学B(フーリエ解析) 生物ロボットの認知・情報処理 卒業研究			物理学A(力学) 応用数学B(フーリエ解析) 生物ロボットの認知・情報処理 卒業研究			物理学A(力学) 応用数学B(フーリエ解析) 生物ロボットの認知・情報処理 卒業研究	
専任	教授	浪花 智英 <平成28年4月> 博士(工学)									
	計測工学基礎 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			計測工学基礎 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			計測工学基礎 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			計測工学基礎 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ 工業概論 卒業研究	
専任	教授	平田 隆幸 <平成28年4月> 理学博士									
	宮沢賢治と非線形科学 応用数学A(微分方程式) ロボットと非線形力学 卒業研究			宮沢賢治と非線形科学 応用数学A(微分方程式) ロボットと非線形力学 卒業研究			宮沢賢治と非線形科学 応用数学A(微分方程式) ロボットと非線形力学 卒業研究			宮沢賢治と非線形科学 応用数学A(微分方程式) ロボットと非線形力学 卒業研究	
専任	教授	藤垣 元治 <平成28年4月> 博士(工学)									
	機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 製図・CAD基礎 卒業研究			機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 製図・CAD基礎 卒業研究			機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 製図・CAD基礎 卒業研究			機械・システム工学科概論Ⅰ 機械・システム工学科概論Ⅱ 製図・CAD基礎 卒業研究	
専任	教授	村瀬 一之 <平成28年4月> Ph. D(米国)									
	人とロボット 応用電気電子回路 信号処理 卒業研究			人とロボット 応用電気電子回路 信号処理 卒業研究			人とロボット 応用電気電子回路 信号処理 卒業研究			人とロボット 応用電気電子回路 信号処理 卒業研究	
専任	准教授	小越 康宏 <平成28年4月> 博士(工学)									
	コンピュータ入門 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 機械理論基礎 インテリジェントシステム処理論 卒業研究			コンピュータ入門 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 機械理論基礎 インテリジェントシステム処理論 卒業研究			コンピュータ入門 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 機械理論基礎 インテリジェントシステム処理論 卒業研究			コンピュータ入門 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 機械理論基礎 インテリジェントシステム処理論 卒業研究	
専任	准教授	片山 正純 <平成29年4月> 博士(工学)									
	学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボットビジョン 人間情報システム 卒業研究			学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボットビジョン 人間情報システム 卒業研究			学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボットビジョン 人間情報システム 卒業研究			学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボットビジョン 人間情報システム 卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	准教授	黒岩 文介 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	教授	黒岩 文介 <平成29年4月> 博士(工学)									
		応用電磁気学 自律システム コンピュータ演習 卒業研究			応用電磁気学 自律システム コンピュータ演習 卒業研究			応用電磁気学 自律システム コンピュータ演習 卒業研究			応用電磁気学 自律システム コンピュータ演習 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボット工学基礎実験Ⅱ 応用電磁気学 自律システム コンピュータ演習 卒業研究
専任	准教授	庄司 英一 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	准教授	庄司 英一 <平成28年4月> 博士(工学)									
		先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究			先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究			先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究			先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 先端材料入門 ロボット材料学 ロボット工学基礎実験Ⅱ ものづくりを支える科学 卒業研究
専任	准教授	高橋 泰岳 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	准教授	高橋 泰岳 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	准教授	高橋 泰岳 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	教授	高橋 泰岳 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	教授	高橋 泰岳 <平成28年4月> 博士(工学)
		ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究			ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究			ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究			ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボット工学基礎実験Ⅱ ロボットの知能と学習 デジタル回路 卒業研究
専任	准教授	田中 完爾 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	准教授	田中 完爾 <平成29年4月> 博士(工学)									
		ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィクスと認知 卒業研究			ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィクスと認知 卒業研究			ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィクスと認知 卒業研究			ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィクスと認知 優秀処理 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ロボットメカニズム ロボット制御論 ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボット工学基礎実験Ⅱ グラフィクスと認知 優秀処理 卒業研究
専任	准教授	長宗 高樹 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	准教授	長宗 高樹 <平成29年4月> 博士(工学)									
		コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究			コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究			コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究			コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ロボット工学基礎実験Ⅰ ロボット工学基礎実験Ⅱ コンピュータ演習 ロボットと医療・福祉 ロボットプログラムⅠ 卒業研究
専任	助教	谷合 由章 <平成28年4月> 博士(理学)	専任	助教	谷合 由章 <平成28年4月> 博士(理学)	専任	講師	谷合 由章 <平成28年4月> 博士(理学)	専任	講師	谷合 由章 <平成28年4月> 博士(理学)	専任	講師	谷合 由章 <平成28年4月> 博士(理学)
		物理学B(電磁気学) 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ ブレインマシンインターフェース 卒業研究			物理学B(電磁気学) 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ ブレインマシンインターフェース 卒業研究			物理学B(電磁気学) 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ ブレインマシンインターフェース 卒業研究			物理学B(電磁気学) 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ ブレインマシンインターフェース 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 ロボット工学基礎実験Ⅱ 物理学B(電磁気学) 解析力学 ロボット工学基礎実験Ⅰ ブレインマシンインターフェース 卒業研究
									専任	助教	後藤 優太 <平成30年4月> 博士(工学)			
											卒業研究			
専任	教授	飯井 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	教授	飯井 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)									
		材料力学Ⅱ 卒業研究			材料力学Ⅱ 卒業研究			材料力学Ⅱ 卒業研究			材料力学Ⅱ 卒業研究			機械・システム工学科総論Ⅰ 機械・システム工学科総論Ⅱ 科学技術英語 材料力学Ⅱ 卒業研究
専任	教授	仁木 秀明 <平成28年4月> 工学博士	専任	教授	仁木 秀明 <平成28年4月> 工学博士									
		量子力学 電気数学 卒業研究			量子力学 電気数学 卒業研究			量子力学 電気数学 卒業研究			量子力学 電気数学 卒業研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名												
専任	教授	玉川 洋一 <平成28年4月> 工学博士												
		放射線利用－医学と産業－ ※ 物理学実験 放射線安全工学 原子力安全工学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 放射線利用－医学と産業－ ※ 物理学実験 放射線安全工学 原子力安全工学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究									
専任	教授	小高 知宏 <平成28年4月> 工学博士												
		計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 卒業研究 コンピュータ入門			計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 卒業研究 コンピュータ入門			計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 卒業研究 コンピュータ入門			計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 卒業研究 コンピュータ入門			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 計算機システム ロボットプログラムⅡ 人工知能論 コンピュータ入門 卒業研究
専任	准教授	桑水流 理 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	准教授	桑水流 理 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	准教授	桑水流 理 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	教授	桑水流 理 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	教授	桑水流 理 <平成30年4月> 博士(工学)
		数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 数値解析入門 原子力安全工学実験Ⅰ 工業概論 卒業研究
専任	准教授	浅井 竜哉 <平成28年4月> Ph. D. (加国)	専任	准教授	浅井 竜哉 <平成28年4月> Ph. D. (加国)	専任	准教授	浅井 竜哉 <平成28年4月> Ph. D. (加国)	専任	准教授	浅井 竜哉 <平成28年4月> Ph. D. (加国)	専任	准教授	浅井 竜哉 <平成28年4月> Ph. D. (加国)
		生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究			生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究			生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究			生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 生体情報工学 生物システム入門 生物とロボット ロボット工学基礎実験Ⅱ 人とヒューマノイド 放射線の医療応用 卒業研究
専任	講師	川崎 大介 <平成28年4月> Ph. D. (米国)	専任	講師	川崎 大介 <平成28年4月> Ph. D. (米国)	専任	講師	川崎 大介 <平成28年4月> Ph. D. (米国)	専任	講師	川崎 大介 <平成28年4月> Ph. D. (米国)	専任	講師	川崎 大介 <平成28年4月> Ph. D. (米国)
		微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 微分積分Ⅰ 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究
					松尾 陽一郎 <平成29年4月> 工学(博士)									
					情報処理基礎 放射線利用－医学と産業－ ※ 地域の防災・危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究			情報処理基礎 放射線利用－医学と産業－ ※ 地域の防災・危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究			情報処理基礎 放射線利用－医学と産業－ ※ 地域の防災・危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 情報処理基礎 放射線利用－医学と産業－ ※ 地域の防災・危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究
								中島 恭平 <平成30年4月> 博士(理学)			中島 恭平 <平成30年4月> 博士(理学)			中島 恭平 <平成30年4月> 博士(理学)
								卒業研究			卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 卒業研究
					寺西 正輝 <平成31年4月> 博士(工学)									
					卒業研究			卒業研究			卒業研究			編成・システム工学科概論Ⅰ 編成・システム工学科概論Ⅱ 科学技術英語 構造力学第一及び演習 構造力学第二及び演習 卒業研究
専任	教授	小原 敦美 <平成28年4月> 博士(工学)												
		対称性と微分方程式 電気電子情報工学概論 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 制御理論基礎 制御理論 卒業研究												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等												
	担当授業科目名													
専任	講師	長谷川 進人 <平成28年4月> 博士(工学)												
専任	教授	明石 行生 <平成28年4月> 博士(工学)												
専任	教授	石川 浩一郎 <平成28年4月> 工学博士												
専任	教授	川上 洋司 <平成28年4月> 工学博士												
専任	教授	小嶋 啓介 <平成28年4月> 工学博士												
専任	教授	野嶋 慎二 <平成28年4月> 博士(工学)												
専任	准教授	磯 雅人 <平成28年4月> 博士(工学)												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	講師	本間 礼人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	講師	本間 礼人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	講師	本間 礼人 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	講師	本間 礼人 <平成28年4月> 博士(工学)
		情報処理基礎 災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 材料学 建設工学実験実習 鉄筋コンクリート構造 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			情報処理基礎 災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 材料学 建設工学実験実習 鉄筋コンクリート構造 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			情報処理基礎 災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 材料学 建設工学実験実習 鉄筋コンクリート構造 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			情報処理基礎 災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 材料学 建設工学実験実習 鉄筋コンクリート構造 数値解析演習 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究
専任	教授	松下 聡 <平成28年4月> 工学博士	専任	教授	松下 聡 <平成28年4月> 工学博士						
		建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
					西本 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	西本 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	西本 雅人 <平成29年4月> 博士(工学)
					建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			都市と建築の環境 ※ 建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 防災・造形学 卒業研究			都市と建築の環境 ※ 建築・都市環境工学概論 建築計画通論 設計演習基礎第一 設計演習基礎第二 建築設計演習第一 建築設計演習第二 建築設計演習第三 建築計画各論第二 建築・都市環境工学PBL 防災・造形学 卒業研究
専任	教授	白井 秀和 <平成28年4月> 工学博士	専任	教授	白井 秀和 <平成28年4月> 工学博士						
		建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
					横井 良尚 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	横井 良尚 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	講師	横井 良尚 <平成29年4月> 博士(工学)
					建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			都市と建築の環境 ※ 建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			都市と建築の環境 ※ 建築・都市環境工学概論 地球・都市環境工学 建築環境工学第一 建築設備 建築・都市環境工学PBL 工業概論 卒業研究
専任	教授	福原 輝幸 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	教授	福原 輝幸 <平成28年4月> 博士(工学)						
		応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究						
					寺崎 寛章 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	助教	寺崎 寛章 <平成29年4月> 博士(工学)	専任	助教	寺崎 寛章 <平成29年4月> 博士(工学)
					応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究			災害の科学 ※ 応用線形代数 建築・都市環境工学概論 水理学 建設工学実験実習 建設環境工学 地震・防災工学 建築・都市環境工学PBL 卒業研究
					木曾 久美子 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	准教授	木曾 久美子 <平成30年4月> 博士(工学)	専任	准教授	木曾 久美子 <平成30年4月> 博士(工学)
					建築計画通論 建築設計演習第一 建築設計演習第一 防災・造形学 卒業研究			建築・都市環境工学概論 建築・都市環境工学PBL 建築設計演習第一 防災・造形学 卒業研究			建築・都市環境工学概論 建築・都市環境工学PBL 建築設計演習第一 防災・造形学 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
		内村 智博 <平成28年4月> 博士(工学)			内村 智博 <平成28年4月> 博士(工学)			内村 智博 <平成28年4月> 博士(工学)			内村 智博 <平成28年4月> 博士(工学)
専任	准教授	科学技術と環境 ※ 分析化学Ⅰ 技術英語演習 分析化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究	専任	准教授	科学技術と環境 ※ 分析化学Ⅰ 技術英語演習 分析化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究	専任	教授	科学技術と環境 ※ 分析化学Ⅰ 技術英語演習 分析化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究	専任	教授	科学技術と環境 ※ 分析化学Ⅰ 技術英語演習 分析化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 卒業研究
		佐々木 隆 <平成28年4月> 工学博士			佐々木 隆 <平成28年4月> 工学博士			佐々木 隆 <平成28年4月> 工学博士			佐々木 隆 <平成28年4月> 工学博士
専任	教授	新素材の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 物理化学Ⅲ 固体物理学 卒業研究	専任	教授	新素材の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 物理化学Ⅲ 固体物理学 卒業研究	専任	教授	新素材の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 物理化学Ⅲ 固体物理学 卒業研究	専任	教授	新素材の世界 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 物理化学Ⅲ 固体物理学 卒業研究
		徳永 雄次 <平成28年4月> 博士(薬学)			徳永 雄次 <平成28年4月> 博士(薬学)			徳永 雄次 <平成28年4月> 博士(薬学)			徳永 雄次 <平成28年4月> 博士(薬学)
専任	教授	物質・生命化学概論 有機化学Ⅰ 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 有機化学Ⅳ 卒業研究	専任	教授	物質・生命化学概論 有機化学Ⅰ 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 有機化学Ⅳ 卒業研究	専任	教授	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に) 物質・生命化学概論 有機化学Ⅰ 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 有機化学Ⅳ 卒業研究	専任	教授	地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に) 物質・生命化学概論 有機化学Ⅰ 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 有機化学Ⅳ 卒業研究
		飛田 英孝 <平成28年4月> Ph. D. (加国)			飛田 英孝 <平成28年4月> Ph. D. (加国)			飛田 英孝 <平成28年4月> Ph. D. (加国)			飛田 英孝 <平成28年4月> Ph. D. (加国)
専任	教授	科学技術と環境 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 反応工学 卒業研究	専任	教授	科学技術と環境 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 反応工学 卒業研究	専任	教授	科学技術と環境 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 反応工学 卒業研究	専任	教授	科学技術と環境 ※ 物質・生命化学概論 技術英語演習 有機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 反応工学 卒業研究
		橋本 保 <平成29年4月> 工学博士			橋本 保 <平成29年4月> 工学博士			橋本 保 <平成29年4月> 工学博士			橋本 保 <平成29年4月> 工学博士
専任	教授	技術英語演習 高分子化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子合成 卒業研究	専任	教授	技術英語演習 高分子化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子合成 卒業研究	専任	教授	技術英語演習 高分子化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子合成 卒業研究	専任	教授	技術英語演習 高分子化学Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 高分子合成 卒業研究
		金 在虎 <平成28年4月> 博士(工学)			金 在虎 <平成28年4月> 博士(工学)			金 在虎 <平成28年4月> 博士(工学)			金 在虎 <平成28年4月> 博士(工学)
専任	准教授	無機化学Ⅰ 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 無機材料化学 卒業研究	専任	准教授	無機化学Ⅰ 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 無機材料化学 卒業研究	専任	准教授	無機化学Ⅰ 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 無機材料化学 卒業研究	専任	准教授	無機化学Ⅰ 基礎化学実験 技術英語演習 無機化学Ⅱ 物質生命化学実験Ⅱ 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 無機材料化学 卒業研究
		山田 岳晴 <平成30年4月> 博士(文学)			山田 岳晴 <平成30年4月> 博士(文学)			山田 岳晴 <平成30年4月> 博士(文学)			山田 岳晴 <平成30年4月> 博士(文学)
専任	講師	道義史 憲章・造形学 卒業研究	専任	講師	道義史 憲章・造形学 卒業研究	専任	講師	道義史 憲章・造形学 卒業研究	専任	講師	道義史 憲章・造形学 卒業研究
		鷗野 周平 <平成31年4月> 博士(工学)			鷗野 周平 <平成31年4月> 博士(工学)			鷗野 周平 <平成31年4月> 博士(工学)			鷗野 周平 <平成31年4月> 博士(工学)
専任	助教	道義・都市環境工学概論 道義・都市環境工学PBL 国土・地域づくり論 卒業研究	専任	助教	道義・都市環境工学概論 道義・都市環境工学PBL 国土・地域づくり論 卒業研究	専任	助教	道義・都市環境工学概論 道義・都市環境工学PBL 国土・地域づくり論 卒業研究	専任	助教	道義・都市環境工学概論 道義・都市環境工学PBL 国土・地域づくり論 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専任	教授	小野田 信春 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	小野田 信春 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	小野田 信春 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	小野田 信春 <平成28年4月> 理学博士
	留学基礎英語 フロンランナー インターンシップ 海外短期インターンシップⅠ 海外短期インターンシップⅡ 線形代数Ⅱ 卒業研究			留学基礎英語 フロンランナー インターンシップ 海外短期インターンシップⅠ 海外短期インターンシップⅡ 線形代数Ⅱ 卒業研究			線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 卒業研究			線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 卒業研究	
専任	教授	菊池 彦光 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	菊池 彦光 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	菊池 彦光 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	菊池 彦光 <平成28年4月> 理学博士
	物理学A(力学) 応用物理学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 物性物理学Ⅰ 物性物理学Ⅱ 卒業研究			物理学A(力学) 応用物理学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 物性物理学Ⅰ 物性物理学Ⅱ 卒業研究			物理学A(力学) 応用物理学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 物性物理学Ⅰ 物性物理学Ⅱ 卒業研究			物理学A(力学) 応用物理学実験Ⅰ 応用物理学実験Ⅲ 物性物理学Ⅰ 物性物理学Ⅱ 卒業研究	
専任	教授	葛生 伸 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	葛生 伸 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	葛生 伸 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	葛生 伸 <平成28年4月> 理学博士
	大学教育入門セミナー 科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー 理科教育法Ⅲ 卒業研究			大学教育入門セミナー 科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー 理科教育法Ⅲ 卒業研究			大学教育入門セミナー 科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー 理科教育法Ⅲ フロンランナー 卒業研究			大学教育入門セミナー 科学技術と社会 科学技術と倫理 生活の中の熱とエネルギー 理科教育法Ⅲ フロンランナー 卒業研究	
専任	教授	高木 丈夫 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	高木 丈夫 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	高木 丈夫 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	高木 丈夫 <平成28年4月> 理学博士
	線形代数Ⅱ 応用物理学概論 応用数学A(微分方程式) 統計力学 卒業研究			線形代数Ⅱ 応用物理学概論 応用数学A(微分方程式) 統計力学 卒業研究			線形代数Ⅱ 応用物理学概論 応用数学A(微分方程式) 統計力学 卒業研究			線形代数Ⅱ 応用物理学概論 応用数学A(微分方程式) 統計力学 卒業研究	
専任	准教授	陳 鏡齋 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	准教授	陳 鏡齋 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	教授	陳 鏡齋 <平成28年4月> 博士(工学)	専任	教授	陳 鏡齋 <平成28年4月> 博士(工学)
	エネルギー科学 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			エネルギー科学 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			エネルギー科学 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			エネルギー科学 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究	
専任	教授	橋本 貴明 <平成29年4月> 工学博士	専任	教授	橋本 貴明 <平成29年4月> 工学博士	専任	教授	橋本 貴明 <平成29年4月> 工学博士	専任	教授	橋本 貴明 <平成29年4月> 工学博士
	応用数学E(確率・統計) 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学講義 解析力学 卒業研究			応用数学E(確率・統計) 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学講義 解析力学 卒業研究			応用数学E(確率・統計) 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学講義 解析力学 卒業研究			応用数学E(確率・統計) 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学講義 解析力学 卒業研究	
専任	教授	堀邊 稔 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	堀邊 稔 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	堀邊 稔 <平成28年4月> 理学博士	専任	教授	堀邊 稔 <平成28年4月> 理学博士
	微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数演習 微分積分講義 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学D(複素関数論) 卒業研究			微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数演習 微分積分講義 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学D(複素関数論) 卒業研究			微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数演習 微分積分講義 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学D(複素関数論) 卒業研究			微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 線形代数演習 微分積分講義 応用数学B(フーリエ解析) 応用数学D(複素関数論) 卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	小川 泉 <平成29年4月> 博士(理学)									
		物理学D(熱・波・光) 放射線安全工学 工業概論 量子力学I 熱力学 応用物理学実験Ⅲ 物理学O(波・光) 卒業研究			物理学D(熱・波・光) 放射線安全工学 工業概論 量子力学I 熱力学 応用物理学実験Ⅲ 物理学O(波・光) 卒業研究			物理学D(熱・波・光) 放射線安全工学 工業概論 量子力学I 熱力学 応用物理学実験Ⅲ 物理学O(波・光) 卒業研究			物理学D(熱・波・光) 放射線安全工学 工業概論 量子力学I 熱力学 応用物理学実験Ⅲ 物理学O(波・光) 卒業研究
					守安 敏 <平成29年4月> 博士(理学)	専任	助教	守安 敏 <平成29年4月> 博士(理学)	専任	講師	守安 敏 <平成29年4月> 博士(理学)
					工業概論 応用力学講義 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究			工業概論 応用力学講義 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究			工業概論 応用力学講義 応用物理学実験Ⅱ 卒業研究
											佐藤 勇二 <平成31年4月> 博士(理学)
											總務代教演習 卒業研究
					Esoano Mary Clare Sison <平成29年4月> 博士(工学)	専任	准教授	Esoano Mary Clare Sison <平成29年4月> 博士(工学)			
					学園実験・実習Ⅰ 学園実験・実習Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			学園実験・実習Ⅰ 学園実験・実習Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究			
兼任	教授	有田 裕二 <平成28年4月> 博士(工学)									
		機械・システム工学概論Ⅰ 物理化学 エネルギー環境概論 機械・システム工学概論Ⅱ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			機械・システム工学概論Ⅰ 物理化学 エネルギー環境概論 機械・システム工学概論Ⅱ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			機械・システム工学概論Ⅰ 物理化学 エネルギー環境概論 機械・システム工学概論Ⅱ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			機械・システム工学概論Ⅰ 機械・システム工学概論Ⅱ 科学技術英語 物理化学 エネルギー環境概論 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅱ 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究
兼任	教授	泉 佳伸 <平成28年4月> 博士(工学)									
		放射線利用—医学と産業— ※ 放射化学 放射線化学・生物学 原子力安全工学実験Ⅰ 放射線防護工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			放射線利用—医学と産業— ※ 放射化学 放射線化学・生物学 原子力安全工学実験Ⅰ 放射線防護工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			放射線利用—医学と産業— ※ 放射線安全工学 放射化学 放射線化学・生物学 原子力安全工学実験Ⅰ 放射線防護工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			機械・システム工学概論Ⅰ 機械・システム工学概論Ⅱ 科学技術英語 放射線利用—医学と産業— ※ 放射線安全工学 放射化学 放射線化学・生物学 原子力安全工学実験Ⅰ 放射線防護工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究
兼任	教授	宇釜 正美 <平成28年4月> 工学博士									
		東日本大震災をどう受け止めるか ※ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 核燃料工学 卒業研究 化学基礎			東日本大震災をどう受け止めるか ※ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 核燃料工学 卒業研究 化学基礎			東日本大震災をどう受け止めるか ※ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 核燃料工学 卒業研究 化学基礎			機械・システム工学概論Ⅰ 機械・システム工学概論Ⅱ 科学技術英語 東日本大震災をどう受け止めるか ※ 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 核燃料工学 卒業研究 化学基礎
兼任	教授	福元 謙一 <平成28年4月> 博士(工学)									
		機械・システム材料基礎 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力材料学 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			機械・システム材料基礎 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力材料学 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			機械・システム材料基礎 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力材料学 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究			機械・システム工学概論Ⅰ 機械・システム工学概論Ⅱ 機械・システム材料基礎 核燃料サイクル工学入門 原子力安全工学実験Ⅰ 原子力材料学 原子力安全工学実験Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	安田 仲宏 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	安田 仲宏 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	安田 仲宏 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	安田 仲宏 <平成28年4月> 博士(理学)
		東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※ ※地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 I ※原子力安全工学実験 II ※放射線防護工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※ ※地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 I ※原子力安全工学実験 II ※放射線防護工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※ ※地域の防災・危機管理 ※ ※放射線安全工学 ※原子力安全工学実験 I ※原子力安全工学実験 II ※放射線防護工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			東日本大震災をどう受け止めるか ※放射線利用-医学と産業- ※ ※地域の防災・危機管理 ※ ※放射線安全工学 ※原子力安全工学実験 I ※原子力安全工学実験 II ※放射線防護工学 ※原子力防災論 ※卒業研究
兼任	教授	渡辺 正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡辺 正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡辺 正 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡辺 正 <平成29年4月> 博士(工学)
		原子力プラント工学 原子炉工学 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 工業概論 卒業研究			原子力プラント工学 原子炉工学 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 工業概論 卒業研究			原子力プラント工学 原子炉工学 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 工業概論 卒業研究			原子力プラント工学 原子炉工学 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 工業概論 卒業研究
兼任	准教授	大堀 道広 <平成28年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	大堀 道広 <平成28年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	大堀 道広 <平成28年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	大堀 道広 <平成28年4月> 博士(工学)
		地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 II ※原子力・耐震耐津波工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 II ※原子力・耐震耐津波工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 II ※原子力・耐震耐津波工学 ※原子力防災論 ※卒業研究			地域の防災・危機管理 ※ ※原子力安全工学実験 II ※原子力・耐震耐津波工学 ※原子力防災論 ※卒業研究
兼任	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert <平成29年4月> Ph. D. (蘭国)	兼任	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert <平成29年4月> Ph. D. (蘭国)	兼任	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert <平成29年4月> Ph. D. (蘭国)	兼任	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert <平成29年4月> Ph. D. (蘭国)
		原子炉物理学序論 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			原子炉物理学序論 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			原子炉物理学序論 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究			原子炉物理学序論 原子力安全工学実験 II 原子炉制御工学 原子力エネルギー・放射線工学 卒業研究
兼任	教授	齋藤 輝雄 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	齋藤 輝雄 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	齋藤 輝雄 <平成28年4月> 理学博士			
		電磁波と物質 ※ ※応用物理学実験 III ※流体力学 ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※応用物理学実験 III ※流体力学 ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※応用物理学実験 III ※流体力学 ※卒業研究			
兼任	教授	小川 勇 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	小川 勇 <平成28年4月> 理学博士	兼任	教授	小川 勇 <平成28年4月> 理学博士			
		電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用物理学実験 II ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用物理学実験 II ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用物理学実験 II ※卒業研究			
兼任	教授	谷 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	谷 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	谷 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	谷 正彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理学実験 I 物理学C(波・光) 量子力学講義 卒業研究			応用物理学実験 I 物理学C(波・光) 量子力学講義 卒業研究			応用物理学実験 I 物理学C(波・光) 量子力学講義 卒業研究			応用物理学実験 I 物理学C(波・光) 量子力学講義 卒業研究
兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成28年4月> 博士(理学)	兼任	教授	光藤 誠太郎 <平成28年4月> 博士(理学)
		電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用力学講義 ※量子力学演習 ※応用物理学実験 I ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用力学講義 ※量子力学演習 ※応用物理学実験 I ※卒業研究			電磁波と物質 ※ ※物理学A(力学) ※応用力学講義 ※量子力学演習 ※応用物理学実験 I ※卒業研究			物理学A(力学) 応用力学講義 流体力学 応用物理学実験 I 卒業研究
兼任	准教授	立松 芳典 <平成28年4月> 理学博士	兼任	准教授	立松 芳典 <平成28年4月> 理学博士	兼任	准教授	立松 芳典 <平成28年4月> 理学博士	兼任	准教授	立松 芳典 <平成28年4月> 理学博士
		物理学A(力学) 物理学B(電磁気学) 応用物理学実験 I 卒業研究			物理学A(力学) 物理学B(電磁気学) 応用物理学実験 I 卒業研究			物理学A(力学) 物理学B(電磁気学) 応用物理学実験 I 卒業研究			物理学A(力学) 物理学B(電磁気学) 流体力学 応用物理学実験 I 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	助教	Escano Mary Clare Sison <平成29年4月> 博士(工学) 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究	Escano Mary Clare Sison <平成29年4月> 博士(工学) 学際実験・実習Ⅰ 学際実験・実習Ⅱ 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究		Escano Mary Clare Sison <平成30年4月> 博士(工学) 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究	兼任 准教授 応用数学A(微分方程式) 応用物理学実験Ⅲ 卒業研究
兼任	特命助教	浅井 華子 <平成30年4月> 博士(科学) 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅲ 卒業研究	浅井 華子 <平成30年4月> 博士(科学) 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅲ 卒業研究	兼任 特命助教	浅井 華子 <平成30年4月> 博士(科学) 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅲ 卒業研究	
兼任	講師	松尾 陽一郎 <平成28年4月> 博士(工学) 情報処理基礎 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災-危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究	松尾 陽一郎 <平成28年4月> 博士(工学) 情報処理基礎 放射線利用-医学と産業- ※ 地域の防災-危機管理 ※ 物理学実験 卒業研究			
兼任	講師	小森 理 <平成28年4月> 博士(統計科学) 電気電子情報工学概論 子ータ構造とアルゴリズム 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 卒業研究	小森 理 <平成28年4月> 博士(統計科学) 電気電子情報工学概論 子ータ構造とアルゴリズム 電気電子情報工学実験Ⅰ 電気電子情報工学実験Ⅱ 電気電子情報工学実験Ⅲ 卒業研究			
						兼任 理事 副学長 微生物学 <平成28年4月> 工学博士
						兼任 教授 編纂の世界 ※ 技術英語演習 化学工学基礎 物質生命化学実験Ⅰ 移動現象論 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 機能材料プロセス工学 卒業研究 田上 勇一 <平成28年4月> 博士(工学)
						兼任 准教授 情報処理基礎 編纂の世界 ※ 基礎化学実験 技術英語演習 物質生命化学実験Ⅰ 物質生命化学実験Ⅱ 移動現象論 物質生命化学実験Ⅲ 物質生命化学実験Ⅳ 先端複合材料 卒業研究 植松 英之 <平成28年4月> 博士(工学)
兼任	教授	松木 健一 <平成29年4月> 教育学修士 成長・発達と学習の過程 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む) 教育実習(事前事後指導を含む)	松木 健一 <平成29年4月> 教育学修士 成長・発達と学習の過程 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む) 教育実習(事前事後指導を含む)	兼任 教授	松木 健一 <平成29年4月> 教育学修士 成長・発達と学習の過程 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む) 教育実習(事前事後指導を含む)	兼任 理事 副学長 成長・発達と学習の過程 学校教育相談Ⅱ(進路指導を含む) 教育実習(事前事後指導を含む) 学校教育相談Ⅰ(生徒指導を含む)
兼任	教授	柳澤 昌一 <平成29年4月> 教育学修士※ 教育の組織・制度・経営の基礎 教職実践演習(中・高)	柳澤 昌一 <平成29年4月> 教育学修士※ 教育の組織・制度・経営の基礎 教職実践演習(中・高)	兼任 教授	柳澤 昌一 <平成29年4月> 教育学修士※ アクティブ・ラーニングと生涯 学習 ※ 教育の組織・制度・経営の基礎 教職実践演習(中・高)	兼任 教授 アクティブ・ラーニングと生涯 学習 ※ 教育の組織・制度・経営の基礎 教職実践演習(中・高)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名												
														中島 健 <平成31年4月> 学士(教育学) 総合的な学習の時間と特別活動
														三田村 彰 <平成31年4月> 学士(経済学) 教育の組織・制度・経営の基礎
兼任	講師	小倉 久和 <平成28年4月> 理学博士												
		応用数学B(フーリエ解析) 線形代数I 線形代数II												
兼任	講師	長水 壽寛 <平成29年4月> 博士(理学)												
		応用数学D(複素関数論)												
兼任	講師	西川 嗣雄 <平成29年4月> 工学博士												
		放射線安全工学												
兼任	講師	高島 敏郎 <平成30年4月> 学士(工学)												
		知的財産権の基礎知識												
兼任	講師	高原 裕一 <平成31年4月> 学士(法学)												
		ベンチャービジネス概論												
兼任	講師	松山 敏郎 <平成31年4月> 学士(工学)												
		職業指導												
兼任	講師	諏訪 いずみ <平成28年4月> 博士(工学)												
		情報処理演習												
兼任	講師	林 明久 <平成28年4月> 理学博士												
		微分積分II 応用数学A(微分方程式)												
兼任	講師	長谷川 武光 <平成28年4月> 工学博士												
		数学演習												
兼任	講師	菅野 雅代 <平成30年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <平成30年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <平成30年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <平成30年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <平成30年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)
		技術英語												
兼任	講師	野尻 誠 <平成31年4月> 学士(経営学)												
		電波・電気通信法規												
兼任	講師	増田 和宏 <平成31年4月> 高等専門学校卒												
		電波・電気通信法規												
兼任	講師	松澤 一砂 <平成31年4月> 学士(工学)												
		電波・電気通信法規												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	青木 幸一 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	青木 幸一 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	青木 幸一 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	青木 幸一 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	青木 幸一 <平成29年4月> 博士(工学)
		電磁気学演習 科学技術英語			電磁気学演習 科学技術英語			電磁気学演習 科学技術英語			電磁気学演習 科学技術英語 高炭物理学実験			
								竹下 晋正 <平成30年4月> 工学博士			竹下 晋正 <平成30年4月> 工学博士			竹下 晋正 <平成30年4月> 工学博士
								機械材料			機械材料			機械材料
								村瀬 一之 <平成30年4月> Ph.D(米國)						
								応用電気電子回路						
								川上 洋司 <平成30年4月> 工学博士						
								国土・地域づくり論						
								福達 登 <平成30年4月> 理学博士			福達 登 <平成30年4月> 理学博士			福達 登 <平成30年4月> 理学博士
								微分積分I 線形代数演習 微分積分講義 応用数学D(複素関数論)			微分積分I 微分積分講義 応用数学D(複素関数論)			微分積分I 微分積分講義 応用数学D(複素関数論)
											仁木 秀明 <平成28年4月> 工学博士			量子力学
											田岡 久雄 <平成28年4月> 工学博士			電気エネルギー伝送 電気機器設計
											内田 博之 <平成28年4月> 理学博士			物質生命化学実験II
											後藤 優太 <平成30年4月> 博士(工学)			応用電気電子回路

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の) に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字としてください。**
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、括めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

- ・福原輝幸教授の退職により教員を見直し、「災害の科学」当該科目は複数名で担当のため、後任なし。
- ・仲野豊准教授の退職により教員を見直し、長谷川達人講師が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「健康科学・医科学概論」の担当を安田年博教授、田中幸枝助教から岩崎博道教授、島田一郎准教授、山次俊介准教授に変更。
- ・担当教員昇任のため、陳競篤准教授、松友一雄准教授、内村智博准教授が教授に変更。井上圭一講師、笹原未来講師が准教授に変更。松尾陽一郎特命助教が講師に変更。
- ・担当教員定年のため、寺澤秀一教授が特命教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「医療概論Ⅰ」の担当を老木成稔教授、佐野和生教授、横山修教授、岩野正之教授、岩崎博道教授、石塚全教授、多田浩教授、菅井学教授、深澤有吾教授、長谷川裕教授、松崎秀夫教授、小林基弘教授、青木耕史教授、松本英樹准教授、島田一郎教授、高村佳弘准教授から五井孝憲教授、山内高弘教授に変更。
- ・福垣良介准教授の退職により教員を見直し、「ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際」については後任補充予定。
- ・教育効果向上のため追加した科目「主権者意識をはぐくむ」について、橋本康弘教授が担当。
- ・小林泰三准教授の退職により教員を見直し、「災害の科学」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため追加した科目「アクティブ・ラーニングと生涯学習」について、遠藤貴広准教授、柳澤昌一教授が担当。
- ・島田直樹助教の退職により教員を見直し、「繊維の世界は複数名で担当のため、後任なし。
- ・教育効果向上のため「進化する繊維の技術」について、末信一朗教授、鈴木悠講師が担当。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため追加した科目「ふくいを知る・見る・考えるⅡ」について吉田史朗特命教授が、「地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)」について徳永雄次教授が担当。
- ・教育効果向上のため「科学技術と環境」について、岡田敬志講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「学問の入り口」について、末本哲雄特命講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「歴史」のトリア(歴史文化論から歴史教育まで)について、中切正人講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「コンピュータと情報処理」について、塚本充教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「マネジメント入門」について中村友哉講師が担当。
- ・田村(佐藤)容子准教授福井大学退職により教員見直しの結果、「中国語の世界3」「中国語の世界4」については兼任教員(加藤錦霞講師)で対応。
- ・田村(佐藤)容子准教授福井大学退職後、兼任となり「中国の文化」の授業を受け持つ。
- ・松下聡教授の退職により教員を見直し、「都市と建築の環境」については木曾久美子助教が担当。
- ・小森理講師、長谷川達人講師、張潮助教、西本雅人講師、桃井良尚講師、寺崎寛章助教、平田豊章助教が専任教員に採用。

【平成30年度】

- ・川上洋司教授の退職により教員を見直し、「まちづくり論」は複数名で担当のため、後任なし。川上洋司教授は兼任教員(講師)として採用。
- ・齊藤輝雄教授、小川勇教授の退職により教員を見直し、「電磁波と物質」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・瀬和則准教授の退職により教員を見直し、「新素材の世界」を入江聡准教授が「物理化学Ⅱ」を前田章教授が担当。
- ・担当教員昇任のため、磯雅人准教授、高橋泰岳准教授、沖昌也准教授、立松芳典准教授、田嶋直樹准教授、熊倉光孝准教授、桑水流理准教授が教授に変更。植松英之講師、岡田将人講師、旭吉雅健講師、浅野貴行講師、高野浩貴講師が准教授に変更。守安毅助教が講師に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「健康科学・医科学概論」の担当を森川美羽助教から梅田幸寛助教に変更。
- ・教育効果向上のため「ふくいを知る・見る・考える」について、吉田史朗特命教授が担当。
- ・教育効果向上のため「繊維の世界」について、浅井華子助教が担当。
- ・教育効果向上のため「都市と建築の環境」について、木曾久美子助教から桃井良尚講師、西本雅人講師が担当。
- ・教育効果向上のため「災害の科学」について、鈴木啓悟講師、藤本明宏講師、寺崎寛幸助教が担当。
- ・教育効果向上のため「人間の科学特別演習C(障害児)」について、新井豊吉准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「バイオの世界」について、沖昌也教授、小西慶幸准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「生体機能と化学物質」について、前田史郎教授、高橋透准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「計算機システムの基礎」について、森真一郎教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「こころの成長」について、高橋哲也准教授、後藤綾文特命講師が担当。
- ・教育効果向上のため「放射線安全工学」について、泉佳伸教授と安田仲宏教授を追加。
- ・「建築計画各論第二」について、西本雅人講師が担当。
- ・教育効果向上のため「日本語A」「日本語D」「日本語F」「応用日本語Ⅰ」「応用日本語Ⅱ」について佐藤綾准教授が担当。
- ・芹生正史准教授死亡により退職。
- ・竹下晋正教授定年退職により「微分積分Ⅱ」を太田貴士准教授が担当。竹下晋正教授は兼任教員(講師)として採用。
- ・堀邊稔教授定年により退職、兼任教員(講師)として採用。
- ・村瀬一之教授定年退職により「人とロボット」を藤垣元治教授が「信号処理」を田中完爾准教授が担当。村瀬一之教授は兼任教員(講師)として採用。
- ・高野浩貴准教授転任により退職し「電気機器設計」を田岡久雄教授が「パワーエレクトロニクス」を橋本明弘教授が担当。
- ・小森理講師転任により退職し「データ構造とアルゴリズム」を田邊英彦助教が担当。
- ・後藤優太助教、坂元博昭准教授、浅井華子助教、藤本明宏講師、山田岳晴講師、中島恭平講師、内藤順也助教、木曾久美子准教授が専任教員に採用。山口裕資助教、石川裕也助教、福成雅史助教兼任教員に採用。
- ・Escano Mary Clare Sison准教授が専任から兼任に異動。
- ・工学部長交代のため、「留学基礎英語」「インターンシップ」「海外短期インターンシップⅠ」「海外短期インターンシップⅡ」を小野田信春教授から福井一俊教授が、「フロントランナー」小野田信春教授から葛生伸教授と米沢晋教授が担当。

【令和元年度】

- ・内田博之教授の退職により教員を見直し、「バイオの世界」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・寺尾健夫教授の退職により教員を見直し、「批判的思考を伸ばす」については後任補充予定。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「電磁波と物資」の担当を光藤誠太郎教授、山本晃司准教授から石川裕也助教、福成雅史助教に変更。
- ・竹内恵子准教授の退職により教員を見直し、「生まれること、産むこと」については後任補充予定。
- ・担当科目の見直しのため、松友一雄教授が担当となっていた「言語生活論」を萩中奈穂美准教授担当に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「繊維の世界」の担当を入江聡准教授から坂元博昭准教授に変更。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「進化する繊維の技術」の担当を末信一朗教授、鈴木悠講師から平田豊章助教に変更。
- ・前田史郎教授の退職により教員を見直し、「生体機能と化学物質」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・高橋哲也准教授、後藤綾文特命講師の退職により教員を見直し、「こころの成長」は岡崎玲子講師、林垂希恵特命講師が担当。
- ・教育効果向上のため「アクティブ・ラーニングと生涯学習」について、半原芳子准教授、血原正純准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「都市と建築の環境」について、原田陽子准教授が担当。
- ・教育効果向上のため「コンピュータと情報処理」について、大垣内多徳准教授が担当。
- ・岩井善郎理事・副学長の退職により教員を見直し、「ふくいを知る・見る・考える」は複数名で担当のため、後任なし。
- ・COC+事業に伴う地域志向科目の充実のため追加した科目「情報化社会の現在と未来」について、岸俊行教授、大西将史准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「心理学的支援法」について、廣澤愛子准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「健康管理と食生活」について、村上亜由美准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数学史入門」について、風間寛司准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「近現代文化昆虫学」について、保科英人准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「モノから読み解く文化財学」について、山田岳晴講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「日本文学の楽しみ」について、中川智寛講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「対話と直感と共感で学ぶ物理」について、山田吉英准教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数学的活動」について、口分田政史講師が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「数と方程式」について、櫻本篤司教授が担当。
- ・教育効果向上のため追加した科目「産業社会の中のセンサ技術」について、石川和彦准教授が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し、「東日本大震災をどう受け止めるか」について、酒井彰久助教が担当。
- ・BECOE NICOLANGELO助教退職により教員体制を見直し、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」について、複数名で担当のため、後任なし。
- ・担当教員昇任のため、西沢徹准教授、竹本拓治准教授、本田知己准教授、黒岩丈介准教授、橋拓至准教授、川本義海准教授、小西慶幸准教授が教授に、岡田敬志講師、旭吉雅健講師、Xiao-Wen Lei講師、石井大輔講師、鈴木啓悟講師が准教授に、平田豊章助教が講師に変更。
- ・ASUBAR JOEL TAGLA准教授、伊藤雅一准教授、木村欣司准教授、鈴木悠准教授、佐藤勇二准教授、重信颯人助教、浅野周平助教、辻岳志助教、高村映一郎助教を専任教員に採用。
- ・配置換えのため、末信一朗教授、田上秀一教授、植松英之准教授が兼任に変更。
- ・仁木秀明教授、田岡久雄教授、内田博之教授が定年退職、後藤優太助教が転任より退職し、兼任として採用。
- ・教員の昇任、採用、退職及び教育効果向上のため教員体制を見直し「機械・システム工学科」「機械・システム工学科概論Ⅰ」「機械・システム工学科概論Ⅱ」「科学技術英語」「卒業研究」を機械・システム工学科の専任教員全てで担当。
- ・教員の昇任と教員体制を見直し「ロボット工学基礎実験Ⅰ」をロボティクスコースの教授と准教授全員が担当。
- ・教員の昇任と教員体制を見直し「ロボット工学基礎実験Ⅱ」をロボティクスコースの教授と准教授及び講師全員が担当。
- ・教育効果向上のため教員体制を見直し「パワーエレクトロニクス」を伊藤雅一准教授が担当。
- ・教員の採用のため教員体制を見直し「半導体工学」をASUBAR JOEL TAGLA准教授が担当。
- ・教員の昇任により教員体制を見直し「基礎物理学実験」を青木幸一講師が担当。
- ・教育効果向上のため「構造力学第一及び演習」、「構造力学第二及び演習」を寺西正輝助教が担当。
- ・前田史郎教授の定年退職のため「無機化学Ⅰ」は岡田敬志准教授、「物理化学Ⅰ」は平田豊章講師と浅井華子助教が担当。
- ・末信一朗教授の配置換えのため「酵素工学」は坂元博昭准教授、「微生物学」は兼任として末信一朗教授が担当。
- ・内田博之教授の定年退職のため「生物化学Ⅰ」は鈴木悠准教授が担当。
- ・教員の採用のため「線形代数演習」は佐藤勇二准教授が担当。
- ・教育職員免許法及び同施行規則改正のため、科目「工業科教育法Ⅰ」「工業科教育法Ⅱ」「教育の理念・歴史・思想」「特別教育支援総論」「カリキュラムと教育方法」「総合的な学習の時間と特別活動」が追加となり、科目「工業概論」「理科教育法Ⅲ」「教職の意義Ⅰ（公教育と教職の意義）」「教職の意義Ⅱ（学びの専門職としての教師）」「教育の組織・制度・経営の基礎」「学校教育相談Ⅰ（生徒指導を含む）」「学校教育相談Ⅱ（進路指導を含む）」「教育実習（事前事後指導を含む）」「教職実践演習（中・高）」についても担当教員の見直しを行った。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	16	6	5	37	16	15	6	2	39
(14)	(16)	(5)	(3)	(38)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
16	15	6	2	39	16	15	6	2	39
[6]	[Δ1]	[0]	[Δ3]	[2]	[6]	[Δ1]	[0]	[Δ3]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{39}{37} = \boxed{105.4} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	後藤 優太	H31.3	必修	卒業研究	①	H31.3.31付け転任のため辞任（元）			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	1	科目	計	1 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由**で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	1 科目	計	1 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	竹下 晋正	必修	微分積分Ⅱ	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	機械材料	②					
			選択	機械工学実験	①					
			必修	卒業研究	①					
2	教授	村瀬 一之	選択	人とロボット	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	応用電気電子回路	②					
			選択	信号処理	①					
			必修	卒業研究	①					
3	教授	仁木 秀明	選択	量子力学	②	H31. 3. 31付け65歳で定年退職 (元)				
			必修	電気数学	①					
			必修	卒業研究	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3 人			必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	6 科目	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	9 科目	計	6 科目	計	3 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

毎学期の時間割及びシラバスで周知

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 機械・システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議</p> <p>【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議 平成30年度1回開催 委員構成:各学部委員,事務職員を含め9名</p> <p>【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会 平成30年度2回開催 委員構成:工学研究科長が指名した教員及び学研究科博士前期課程各専攻より選出された委員 計9名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議</p> <p>1)カリキュラムの調査・分析・検討, 2)授業尾内容・方法の改善及び教材開発, 3)GP等の教育プロジェクト</p> <p>4)e-learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業, 5)教育に係る地域連携及び国際連携</p> <p>6)教育に係る評価及び教育評価法の開発, 7)その他センターが必要と認めた事項</p> <p>●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会</p> <p>1)FDの企画及び実施に関すること, 2)アクティブ・ラーニングに関すること,</p> <p>3)カリキュラム評価アンケートに関すること 4)GPAデータのFDへの活用に関すること,</p> <p>5)その他FDに関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井大学FD・SDシンポジウムの開催1回(平成31年2月22日) ・全学FD・SDシンポジウム終了後に講師及び各教員との意見交換会 <p>●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニング通信(教員のALに関する取り組みを紹介するメルマガ。H30年度は20回発行) ・FDランチタイムしゃべり場(教員間の意見交換会。H30年度は5回開催) ・FD研修会(H30年度は4回開催),シンポジウム「工学教育におけるアクティブラーニング」 ・カリキュラム評価アンケート結果の各学科へのフィードバック ・GPAデータの各学科へのフィードバック

b 実施方法

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

福井大学FD・SDシンポジウムは、学外から講師を招聘し、主に内部質保証、教学IRについてのシンポジウムを開催した。開催日時については、事前に教授会等で周知を行い、当日はTV会議システムを利用し、可能な限り多くの教員が参加できるようにした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・福井大学FD・SDシンポジウム（平成31年2月22日） 参加人数：77名
- ・工学部シンポジウム「工学教育におけるアクティブラーニング」（平成30年11月16日） 参加人数：68名
- ・FD研修会「合理的配慮決定までの具体的プロセス」（平成30年7月13日）参加人数：126名
- ・FD研修会「高大接続で何がかわるのか？何をしなければならないのか？」（平成30年10月5日）
参加人数：138名
- ・FD研修会「学生相談について～学生・保護者への対応～」（平成30年12月7日）参加人数：100名
- ・FD研修会「福井大学生の学修に関する傾向と特徴：学生生活実態調査（2016）から工学部を中心に」（平成31年3月15日）参加人数：118名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施結果を踏まえて、2019年度以降の授業改善等に役立てていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業改善のためのアンケート（平成30年度前期及び後期に実施）
- ・カリキュラム評価アンケート（平成30年度前期に実施）
- ・福井大学の教育・研究に対する意識・満足度調査（平成30年度後期に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業改善のためのアンケート（前後期を通して任意の科目で実施。教員や施設管理者等に新たな取組みの紹介や施設等に対する改善検討を求め、学生に対応状況をフィードバックしている）
- ・カリキュラム評価アンケート（各学科にフィードバックし、対応を議論。学生との話し合いにも活用している）
- ・学生の在学中及び卒業・修了にあたり、本学の教育・研究に対してどのような意識や満足感を持っているかを把握するアンケート（今後の必要な教育・研究環境等の整備・充実に役立てるため集計し教員等にフィードバックしている）

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に改組し順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年3月 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 7月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

福井大学高等教育推進センターの部門に関する要項

平成 21 年 9 月 15 日

学 長 裁 定

(目的)

第 1 条 この要項は、福井大学高等教育推進センター規程（平成 21 年福大規程第 45 号）第 7 条第 2 項の規定に基づき、福井大学高等教育推進センター（以下「センター」という。）の各部門について、必要な事項を定めるとともに、同第 4 条第 6 項の規定に基づく兼任の事務職員について、必要な事項を定める。

第 2 条 削除

(FD・教育企画部門)

第 3 条 FD・教育企画部門においては、教育内容・方法の充実及び教育評価に係る課題に取り組み、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行い、又は実施する。

- (1) カリキュラムの調査・分析・検討
- (2) 授業内容・方法の改善及び教材開発
- (3) GP等の教育プロジェクト
- (4) e-Learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業
- (5) 教育に係る地域連携及び国際連携
- (6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発
- (7) その他センターが必要と認めた事項

(学生支援部門)

第 4 条 学生支援部門においては、学生支援の在り方について総合的に検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 修学支援
- (2) 心身の健康の保持増進支援
- (3) 就職支援及びキャリア教育
- (4) 留学生支援
- (5) 修学環境の改善
- (6) その他センターが必要と認めた事項

(COC教育部門)

第 5 条 COC教育部門においては、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」プログラム（以下「COC事業」という。）の推進も含め、地域志向の教育活動の推進について検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 地域を志向した人材育成及び地域の課題解決の視点を踏まえたカリキュラム
- (2) その他センターが必要と認めた事項

(各部門の構成)

第6条 次の各号に掲げる部門に、それぞれ必要な教員及び兼任の事務職員を置く。

(1) 削除

(2) FD・教育企画部門

イ センターの専任教員

ロ 各学部（研究科）教員 各1名（ハ又はニの委員の兼務可）

ハ 文京地区共通教育委員会委員 1名

ニ 松岡地区共通教育委員会委員 1名

ホ 学務部教務課長

ヘ 学務部松岡キャンパス学務室長

ト その他センター長が必要と認めた者

(3) 学生支援部門

イ 各学部（研究科）教員 各1名

ロ 国際センター教員 1名

ハ 保健管理センター教員 1名

ニ 学務部教務課長

ホ 学務部学生サービス課長

ヘ 学務部国際課長

ト 学務部学術情報課長

チ 学務部キャリア支援室長

リ 学務部松岡キャンパス学務室長

(4) COC教育部門

イ 各学部（研究科）地域志向教育研究推進のコア教員 若干名

ロ 学務部教務課長

ハ 学務部松岡キャンパス学務室長

ニ その他センター長が必要と認めた者

2 各部門に、当該部門の業務を管理する部門長を置く。

3 部門長は、部門員の中からセンター長が指名する。

(庶務)

第7条 部門の庶務は、FD・教育企画部門及びCOC教育部門にあつては学務部教務課、学生支援部門にあつては学務部学生サービス課において処理する。

附 則

この要項は、平成21年9月15日から施行する。

附 則（平成22年4月23日改正）

この要項は、平成22年4月23日から施行し、改正後の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成 23 年 2 月 23 日改正）

この要項は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 2 月 20 日改正）

この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 6 月 28 日改正）

この要項は、平成 25 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 11 月 13 日改正）

この要項は、平成 25 年 11 月 13 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 11 日改正）

この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会要項

平成16年4月1日

工学研究科長裁定

(設置)

第1条 福井大学工学部及び大学院工学研究科に、福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、工学部及び工学研究科の教育の理念、目的、目標を教員に周知するとともに、それらを達成するための教育方法の研究・改善と、教員の教育に対する資質の向上に努める。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 工学研究科長が指名した教員 | 1名 |
| (2) 博士前期課程各専攻から選出された教員 | 8名 |
| (3) その他工学研究科長が必要と認めた者 | 若干名 |

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、第3第1号の委員をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 学務担当副研究科長は、必要に応じて委員会に出席することができる。

3 委員長は、必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 委員会に必要に応じて専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学務部教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この要項は、平成16年4月1日から施行する。

2 この要項の施行後、最初に選出される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年4月30日までとする。

附 則

1 この要項は、平成16年7月16日から施行する。

2 この要項の施行後、最初に選出される第3条第1号及び第3号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年4月30日までとする。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。